



VPA-B222

Vehiclehub Pro

取扱説明書



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
<一般回線ご利用のお客様用>
TEL:0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>
TEL:048-662-6636
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30~17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan (Y-628)
68-02065Z89-A

⚠安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



車体に穴をあける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



助手席エアバッグの近くに製品を取り付けないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



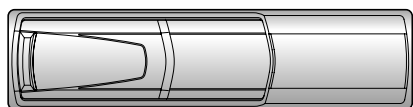
禁止

- 別売のKCA-410C(Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台を接続することができます。
- CHA-S634は、M.I.X. ALL機能はありません。



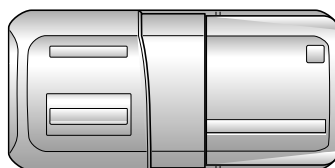
CD も、MD も、お気に入りのアルバムは、アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！

CD CHANGER



CHA-S634

MD CHANGER



MHA-S670

車室内にもセットできる超小型サイズのCD6枚チェンジャーが、CD-R/CD-RWの再生、さらにMP3再生にも対応して新登場。人気のMDソースが思う存分楽しめるMDチェンジャーも、大ブレイク。車室内で“いい音”を楽しむ技術にかけては最先端のアルパイン。そのヘッドユニットをセンターに、車や聴きたいソースにあわせて高音質チェンジャーを拡張装備すれば、もっと“いい音”に抱かれる快適ドライブが実現。アルパインのチェンジャーにプラスして、あなたも、感動のノンストップデジタルパワープレイを、どうぞこころゆくまで！

取り扱い上のご注意(共通)

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

製品のお手入れ

お手入れは乾いた布が強く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

目次

安全にお使いいただくために

警告／注意	2
目次	4

基本操作

特長	6
リセットする	6
電源の ON/OFF	6
ソースを切りかえる	6
音量を調整する	7
ミュートの ON/OFF	7

ラジオ操作

ラジオを聴く	8
放送局を記憶する	8
自動的に放送局を記憶する（オートメモリー）	8
記憶した放送局を受信する	9
道路交通情報を受信する	
TRF（トラフィックインフォメーション）	9

便利な機能

オーディオ調整	10
バランス調整	10
フェダー調整	10
高音を強調する（トレブルセンター周波数）	10
低音を強調する（バスセンター周波数）	10
サブウーハーレベル調整	11
ラウドネスの ON/OFF	11
DEFEAT（ディフィート）の ON/OFF	11
GUIDE 音声の音量設定	11
リアエンター機能	11
リモコン受光部を切りかえるには	12

セットアップ操作

GENERAL セットアップ	13
デモンストレーション機能	13
時刻表示の設定	13
時刻を設定する	13
操作音の切りかえ	14
コマンダー操作振動の ON/OFF	14
スクロールの設定	14
SYSTEM セットアップ	14
●スピーカー入力を使う	
スピーカー入力モードの設定	15
スピーカー入力音量レベルの表示	15
ナビゲーション／スピーカー入力音声の割り込み設定	15
スピーカー入力の割り込み検出レベルの調整	15
スピーカー入力音声の割り込み音量調整	15
スピーカー入力音声の割り込みタイプの設定	16
スピーカー入力割り込み検出のチャンネル設定	16

●ナビゲーションを接続する	
ナビゲーションモードを設定する	16
ナビゲーション音声の割り込み音量調整	16
●外部入力製品を接続する(AUX)	
AUX モードを設定する	16
外部入力に表示名をつける	16
外部入力音声レベルの調整	17
●リアモニターを接続する	
外部モニター出力の設定	17
VISUALIZER の設定	17
●サブウーハーを接続する	
サブウーハーの ON/OFF	17
●コマンダーの設定を行う	
コマンダー照光ボタンの色を設定する	17
コマンダー照光ボタンの ON/OFF	17
コマンダー照光ボタンの明るさ調整	17
●その他の設定	
外部割り込みモードの設定	18
画面の位置調整	18

CD/MD/MP3/WMA操作(オプション)

CD/MD/MP3/WMA を聴く	19
フォルダを選択する	19
フォルダ／ファイルサーチ	19
曲順を変えて聴く M.I.X.（ミックス）	20
繰り返し聞く REPEAT（リピート）	20

DVD/ビデオ CD 操作（オプション）

DVD/ビデオ CD を再生する	21
静止（一時停止）する	21
チャプター／トラックの頭出し	21
早送り／早戻し	21
トップメニュー画面を表示する（DVD のみ）	21
ディスクの切りかえ（DVD チェンジャー接続時のみ）	22
再生中止（PRE STOP）	22
再生停止	22
チャプター／トラック／タイトルリピート再生	22
音声言語切りかえ	23
サブタイトル（字幕言語）切りかえ（DVD のみ）	23
アングル切りかえ（DVD のみ）	23

iPod® 操作（オプション）

iPod® の曲を聴く	24
聴きたい曲を探す	24
Playlist（プレイリスト）から探す	24
アーティスト名から探す	25
アルバム名から探す	25
曲名から探す	25
プレイリスト／アーティスト／アルバムを選ぶ	26
曲順を変えて聴く シャッフル（M.I.X. ミックス）	26
繰り返し聞く REPEAT（リピート）	26

ナビゲーション操作 (オプション)

ナビゲーション画面を表示する	27
ナビゲーション操作モードにする	27
地図画面を操作する	27
現在地を表示する	27
画面をスクロールする	27
画面縮尺を切りかえる	27
メニュー画面を操作する	27

HDD/MD/MSプレイヤー操作 (オプション)

HDD/MD/"MGメモリースティック"の曲を聴く	27
---------------------------	----

地上デジタルテレビ操作 (オプション)

地上デジタルテレビモードにする	28
チャンネルを選ぶ	28
登録したチャンネルを呼び出す	28
番組情報を見る (EPG)	28
メニュー画面を表示する	28

テレビ操作 (オプション)

テレビモードにする	28
自動的にチャンネルを記憶する	29
登録したチャンネルを呼び出す	29
チャンネルを選ぶ	29
音声多重機能を使う (二重音声放送)	29

AUX 操作 (オプション)

AUX (外部入力) モードにする	29
-------------------	----

FACTORY SYS 操作

FACTORY SYS (スピーカー入力) モードにする	29
------------------------------	----

外部オーディオプロセッサの操作 (オプション)

ドルビーサラウンドの調整手順	30
スピーカーの設定をする	31
外部オーディオプロセッサのMXモードを設定する	31
X-OVERの調整	32
手動で時間補正を行う (TCR)	32
位相切りかえ	33
グラフィックEQの調整	33
パラメトリックEQの調整	34
Bass Sound コントロールの設定	34
Bass Compressor の設定	34
Bass Focus の設定	35
スピーカーセットアップ	35

Dolby Digital を設定する	36
音像を調整する	36
リアに低域音声をミキシングする	36
迫力のある大音量再生を楽しむには	37
スピーカーレベルを調整する	37
DVD レベルを調整する	37
設定した内容を記憶する	38
記憶した内容を呼び出す	38
PRO LOGIC II を使う	38
CENTER WIDTH を選ぶ	39
リア PCM の設定	39

タッチスイッチで操作する

基本操作	40
ラジオ操作	40
セットアップ操作	41
CD/MD/MP3/WMA 操作	42
DVD/ビデオCD 操作	43
iPod 操作	44
地上デジタルテレビ操作	44
テレビ操作	45
HDD/MD/"MGメモリースティック" 操作	45

✂️ 取り付けと接続

取り付けと接続	46
---------	----

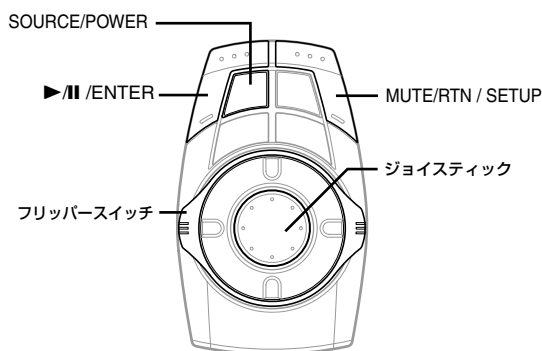
その他

故障かな?と思ったら	60
規格	62
保証について	62
お問い合わせ窓口	63

オプションとは?

当社別売の拡張オーディオ製品 (チェンジャー、オーディオプロセッサなど) と組み合わせた場合に、本機から操作することができます。別売製品と組み合わせた際にお読みください。





基本操作

特長

本機に ALPINE Ai-NET 対応製品 (DVD/HDD/MS/MD プレイヤー、DVD/CD/MD チェンジャー) や、FULLSPEED™ Connection Cable を用いて iPod を接続すると、本機添付のコマンドで操作することができ、外部モニターに表示させることも可能です。また ALPINE ナビゲーションシステムを接続して、外部モニターにナビゲーション画面を表示 / 操作することができます。

接続する製品の機能について詳しくは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

操作は添付のコマンドから行います。アルパイン製タッチモニター接続時にはタッチスイッチが表示され、タッチ操作を行うこともできます。

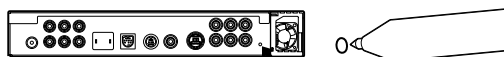
本書では、添付のコマンド操作をメインに説明しています。タッチ操作については「タッチスイッチで操作する」(40 ページ) を参照してください。

- ・ コマンドのスイッチは、操作時に振動します。(「コマンド操作振動の ON/OFF」14 ページ参照)

リセットする

初めて使うときや、チェンジャー等を取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

- 1 電源が切れているか確認する。入っている場合には、「SOURCE/POWER」を2秒以上押して、電源を切る。
- 2 リセットスイッチをペン先などで押す。



- リセットすると、時刻など記憶した内容が消去されます。もう一度、登録し直してください。

電源の ON/OFF

- 1 イグニッションキー (エンジンキー) を ACC または ON にする。
- 2 「SOURCE/POWER」を押す。
電源が入る。
- 3 電源を切るときは、「SOURCE/POWER」を2秒以上押す。

● 本機のソースをモニターに表示するには
接続するモニターの映像ソース選択操作で、本機ソースを呼び出します。操作については、モニターの取扱説明書を参照してください。

アルパイン製モニターと接続 (RGB 接続) した場合

- 1 モニターの映像ソース選択操作で、ナビゲーションモードを呼び出す。
本機のソースが表示される。



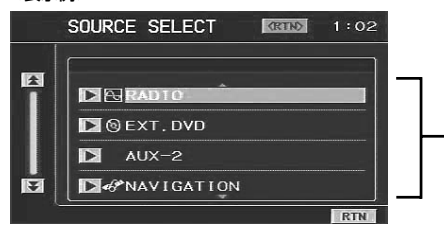
- 電源は、どのスイッチを押しても入ります。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。

ソースを切りかえる

- 1 「SOURCE/POWER」を押す。

ソース選択画面が表示される。

<表示例>



選択できるソースモードが表示される。
(接続・各設定により、表示されるソースモードの種類は異なります。)

- 2 「ジョイスティック」↑↓で希望のソースを選び、「▶/||/ENTER」を押す。
選択したソースのメインソース画面が表示される。



- ソース選択画面で「MUTE/RTN /SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻ります。

音量を調整する

- 1 フリップスイッチを時計方向、反時計方向に回してボリュームを調整します。

時計方向：Vol. UP

反時計方向：Vol. DN

VOLUME：0～35

ミュートのON/OFF

- 1 「MUTE/RTN / SETUP」を押す。

瞬時に音量が下がる。

ミュート中は、ボリューム値を点滅表示します。

- 2 解除するには、再度「MUTE/RTN / SETUP」を押す。

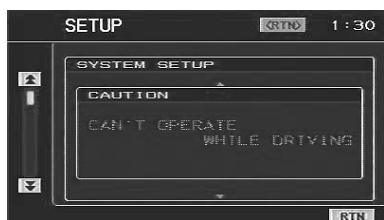
走行中の画面表示について

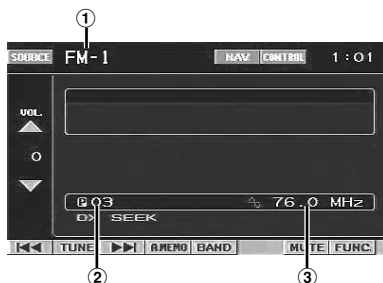
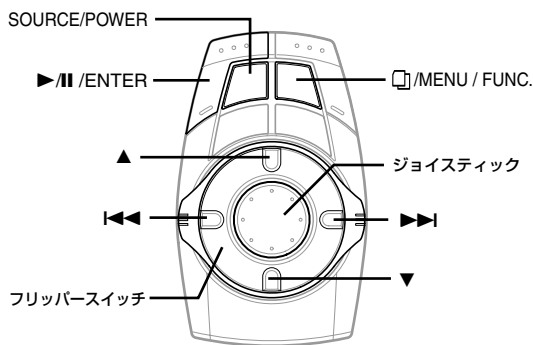
- 走行中（パーキングブレーキをかけていないとき）は、次のメッセージ（「PICTURE OFF FOR YOUR SAFETY」）を表示します。



- ・ DVDなどの、映像が出るソースの場合のみ5秒間表示されます。（ナビゲーションモードでは表示されません）

- 走行中は次のメッセージ（「CAN' T OPERATE WHILE DRIVING」）が表示され、一部の操作しかできません。SETUP操作は車を停止させてから行ってください。





- ① バンド表示
- ② プリセット No. 表示
- ③ 周波数表示

ラジオ操作

ラジオを聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押す。
ソース選択画面が表示される。
- 2 RADIOを選択した状態で「>||/ENTER」を押して、ラジオモードにする。
ラジオモードにするとアンテナが伸びる。(パワーアンテナ装着車のみ)
- 3 「▲」を2秒以上押して、バンドを選ぶ。
→FM-1→FM-2→AM→
- 4 「>||/ENTER」を押して、チューニングモードを選ぶ。
→ DX SEEK → SEEK → (消灯) →
(ディスタンスモード) (ローカルモード) (マニュアルモード)



- 初期設定はディスタンスモードに設定されています。
- ・ ディスタンスモードのとき
受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
- ・ ローカルモードのとき
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)
- ・ マニュアルモードのとき
1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)

- 5 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい放送局(周波数)を探す。
押し続けると連続で周波数が切りかわる。
- 6 フリップスイッチを回して、音量(0～35)を調整する。

放送局を記憶する

- 1 「ラジオを聴く」を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。
- 2 「<||/MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION画面が表示される。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押してPRESET MEMORYを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してPRESET1～PRESET 6を選び、「>||/ENTER」を押す。
選んだNo. に放送局が記憶される。



- 放送局は18局まで記憶できます。
FM1…6局、FM2…6局、AM…6局
- すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動的に放送局を記憶する(オートメモリー)

- 1 「▲」を2秒以上押して、受信したいバンドを表示させる。
→FM-1→FM-2→AM→
- 2 「>||/ENTER」を2秒以上押す。
電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」～「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。



- 放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

記憶した放送局を受信する

- 1 「▲」を2秒以上押してバンドを選ぶ。

→FM-1→FM-2→AM

コマンダーで切りかえる

- 2 「▲」または「▼」を押して、プリセット番号 (P01 ~ P06) を選ぶ。
選んだ放送局が受信される。

FUNCTION 画面で呼び出す

- 2 「□/MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面が表示される。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押してPRESET CALL を選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してPRESET 1 ~ PRESET 6 を選び、「▶/II / ENTER」を押す。
選んだ放送局が受信される。

道路交通情報を受信する

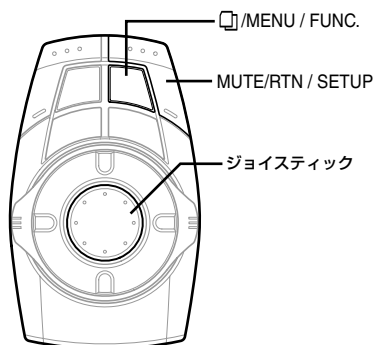
TRF (トラフィックインフォメーション)

- 1 「□/MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑ ↓を押してTRF を選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押して1620kHz/1629kHz を切りかえ、「▶/II / ENTER」を押す。
- 4 解除するには「MUTE/RTN / SETUP」を押す。
TRF 操作前のメインソース画面に戻る。



Memo

● CD、ラジオなどのいずれを聴いていても、交通情報を受信できます。



便利な機能

オーディオ調整

次の手順1～5はオーディオ調整の共通操作になります。オーディオ調整項目の詳細は、それぞれの項目を参照してください。

- 1 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP画面に切りかわる。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してAUDIO MODEを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AUDIO MODE画面に切りかわる。

< AUDIO MODE画面例 >



- 3 「ジョイスティック」↑↓を押して設定項目を選ぶ。
設定項目：
BALANCE / FADER / TREBLE / BASS / SUBW LEVEL / LOUDNESS / DEFEAT / GUIDE MIX LV*
※ 外部オーディオプロセッサ接続時のみ表示される。
- 4 「ジョイスティック」←→を押して調整・設定する。
- 5 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。設定前のメインソース画面に戻るには、「MUTE/RTN / SETUP」を繰り返し押す。

バランス調整

左右のスピーカー音量を調整します。

設定項目：BALANCE
設定値： L15 ～ R15

フェダー調整

前後のスピーカー音量を調整します。

設定項目：FADER
設定値： F15 ～ R15

高音を強調する（トレブルセンター周波数）

高音で強調したい周波数を設定／調整することができます。

- 1 左記手順3でTREBLEを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 2 「ジョイスティック」↑↓で項目を選び、「ジョイスティック」←→で設定／調整する。

[トレブルレベルの調整]

トレブルレベルを調整することで高音域を強めたり、弱めたりすることができます。（各音楽ソースごとに調整が可能）

設定項目：LEVEL
設定値： -7 ～ +7

[トレブルセンター周波数の設定]

設定した周波数の音域（高音）を強調する。（各音楽ソース共通）

設定項目：FREQUENCY
設定値： 7.5kHz ↔ 10kHz ↔ 12.5kHz
↔ 15kHz

Memo

- ディフェルト(11ページ)がONのときは操作を受けつけません。
- 外部オーディオプロセッサ接続時は、操作を受けつけません。

低音を強調する（バスセンター周波数）

低音で強調したい周波数を設定／調整することができます。

- 1 左記手順3でBASSを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 2 「ジョイスティック」↑↓で項目を選び、「ジョイスティック」←→で設定／調整する。

[バスレベルの調整]

バスレベルを調整することで低音域を強めたり、弱めたりすることができる。（各音楽ソースごとに調整が可能）

設定項目：LEVEL
設定値： -7 ～ +10

[スロープの設定]

設定した周波数に対して帯域幅を変更することができます。（各音楽ソース共通）

設定項目：SLOPE
設定値： 0.50 ↔ 0.75 ↔ 1.00 ↔ 1.25

[バスセンター周波数の設定]

設定した周波数の音域（高音）を強調する。（各音楽ソース共通）

設定項目： FREQUENCY

設定値： 60Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 120Hz



Memo

- ディフィート(11ページ)がONのときは操作を受けつけません。
- 外部オーディオプロセッサ接続時は、操作を受けつけません。

サブウーハーレベル調整

サブウーハー出力の調整をします。

設定項目： SUBW LEVEL

設定値： 0 ~ 15



Memo

- 「サブウーハーのON/OFF」(17ページ)でON設定時にレベル調整ができます。

ラウドネスのON/OFF

人間の耳は音が小さくなると高音や低音が聞こえにくくなります。この音域の不足感を補うために高音・低音を強調させ、聴きやすくさせることができます。

設定項目： LOUDNESS

設定値： ON/OFF



Memo

- ディフィート(次項目)がONのときは操作を受けつけません。
- 外部オーディオプロセッサ接続時は、操作を受けつけません。

DEFEAT (ディフィート) のON/OFF

ONに設定すると、バス/トレブルセンター周波数を初期値に戻します。

設定項目： DEFEAT

設定値： ON/OFF

GUIDE 音声の音量設定

GUIDE OUT端子の外部オーディオプロセッサが出力する、スピーカー入力音声とナビゲーション割込音声ボリューム値を設定します。

設定項目： GUIDE MIX LV

設定値： 0 ~ 15

※ 本設定は必ず15に設定してください。15に設定しないと、正常に動作しない場合があります。



Memo

- 音量調整は「スピーカー入力音声の割り込み音量調整」(15ページ)と、「ナビゲーション音声の割り込み音量調整」(16ページ)で行ってください。

リアエンター機能

リアエンター機能を設定すると、車室内のフロント席とリア席で、それぞれ独立した空間をつくり出すことができます。たとえば、フロント席でラジオなどのオーディオソースを聴きながら、リア席では別売リアモニターの使用でDVDなどを楽しむことができます。

・ リアモニターを接続するには、別売拡張BOX(VPE-S431)が必要です。

1 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP 画面に切りかわる。

2 「ジョイスティック」↑↓を押してREAR SELECTを選び、「ジョイスティック」→を押す。
REAR SELECT 画面に切りかわる。

< REAR SELECT 画面例 >



Memo

- SYSTEMセットアップのMONITOR1~2の設定がOFFの場合は、この機能は使用できません。

3 「ジョイスティック」↑↓を押して設定するモニターを選ぶ。

REAR-1:

別売拡張BOX (VPE-S431) のAUX OUT 1に接続しているリア用外部モニター

REAR-2:

別売拡張BOX (VPE-S431) のAUX OUT 2に接続しているリア用外部モニター

4 「ジョイスティック」←→を押して希望の映像系ソース（外部入力）を設定する。

5 「MUTE/RTN /SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。設定前のメインソース画面に戻るには、「MUTE/RTN /SETUP」を繰り返し押す。



Memo

- 「OFF」に設定するとリアエンター機能は解除されます。
- 「AUXモードを設定する」(16ページ)のAUX IN設定がOFFの場合は、外部入力のソースは表示されません。
- 「VISUALIZERの設定」(17ページ)の設定がOFFの場合は、VISUALIZER(VISUAL.)は表示されません。

リモコン受光部を切りかえるには

別売リモコンから操作をするときに拡張ユニット(外部モニターなど)のリモコン受光部をお好みで切りかえることができます。

- 1 SETUP画面で「ジョイスティック」↑↓を押してSYSTEM SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
SYSTEM SETUP画面に切りかわる。

- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してREMOTE SEL.を選ぶ。

- 3 「ジョイスティック」←→を押してリモコン操作を行うモニターを選ぶ。

リモコン操作を優先するモニターが切りかわる。

FRONT: RGB ケーブルで接続したアルパイン製モニター、または別売リモコンアイを接続しての他社製モニターのリモコン操作ができます。

REAR-1: 別売拡張BOX(VPE-S431)のAUX OUT1に接続した外部モニターのリモコン受光部が有効となり、リアエンター機能で選んだソースに対してのみリモコン操作ができます。

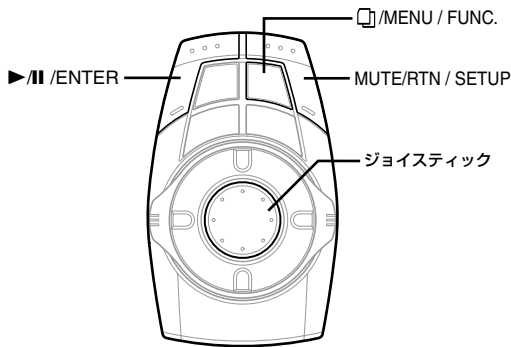
REAR-2: 別売拡張BOX(VPE-S431)のAUX OUT2に接続したモニターのリモコン受光部が有効となり、リアエンター機能で選んだソースに対してのみリモコン操作ができます。

- 4 「MUTE/RTN /SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。設定前のメインソース画面に戻るには、「MUTE/RTN /SETUP」を繰り返し押す。



Memo

- 「□ /MENU /FUNC.」を2秒以上押した後、FUNCTION画面でSETUPを選択してもSETUP画面を呼び出すことが出来ます。
- リアモニター用に当社のタッチパネルリアモニター製品を接続(モニターコントロールコードを接続)し、タッチ操作した場合には、リモコン受光部の切りかえ設定にかかわらずタッチパネルリアモニターの受光部が優先します。但し、最後の操作から約5秒経過すると、設定していたリモコン受光部優先に戻ります。

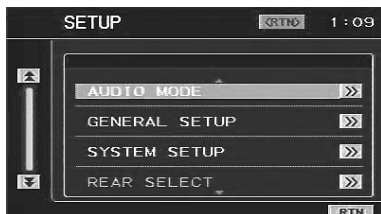


セットアップ操作

GENERAL セットアップ

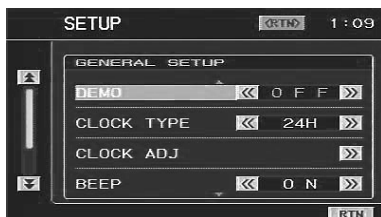
次の手順 1～5 は、GENERAL セットアップの共通操作になります。セットアップ項目の詳細は、それぞれの設定項目を参照してください。

- 1 「MUTE/RTN / SETUP」を 2 秒以上押す。
SETUP 画面に切りかわる。



- 2 「ジョイスティック」↑↓を押して GENERAL SETUP を選び、「ジョイスティック」→を押す。
GENERAL SETUP 画面に切りかわる。

< GENERAL SETUP 画面例 >



- 3 「ジョイスティック」↑↓を押して設定項目を選ぶ。
設定項目: DEMO / CLOCK TYPE / CLOCK ADJ / BEEP / REACTOR / SCROLL AUTO

- 4 「ジョイスティック」←→を押して調整・設定する。

- 5 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。設定前のメインソース画面に戻るには、「MUTE/RTN / SETUP」を繰り返し押す。



● 「**MENU / FUNC.**」を 2 秒以上押した後、**FUNCTION**画面で **SETUP** を選択しても **SETUP** 画面を呼び出すことができます。



● **GENERAL** セットアップモード時(システムが自動的に書き込みをしているとき)は、**イグニッションキー(エンジンキー)**を **OFF** にしないでください。
イグニッションキー(エンジンキー)を **OFF** にすると、設定が変更されない場合があります。



便利な機能／セットアップ

デモンストレーション機能

本機には、各ソースの基本的な動作をメインディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

設定項目: **DEMO**

設定値: **OFF / ON**

ON: デモンストレーションモードになり、動作を自動的に行う。

OFF: デモンストレーションモードを解除する。



● **OFF** にしない限り、デモンストレーションの動作は自動的に繰り返します。

時刻表示の設定

時刻表示のタイプを設定することができます。

設定項目: **CLOCK TYPE**

設定値: **12H / 24H / OFF**

12H: 時刻を 12 時間表示する。

24H: 時刻を 24 時間表示する。

OFF: 時刻を表示しない。

時刻を設定する

設定項目: **CLOCK ADJ** → **HOUR / MINUTE**

設定値: **1 ~ 12 (0 ~ 23)* / 0 ~ 59**

HOUR: 時を合わせる。

MINUTE: 分を合わせる。

※「時刻表示の設定」(前項目)により、設定値が異なります。



● 「ジョイスティック」←→は、押し続けると連続して変化します。

セットアップ

操作音の切りかえ

コマンダーのスイッチを押したときに操作音を鳴らして操作を受けつけたことを伝えます。

設定項目： BEEP

設定値： OFF / ON

ON： 操作音を鳴らす。

OFF： 操作音が出なくなる。

コマンダー操作振動のON/OFF

コマンダー操作時の振動のON/OFF 設定ができます。

設定項目： REACTOR

設定値： OFF / ON

OFF： 操作入力時に振動させない。

ON： 操作入力時に振動させる。

スクロールの設定

スクロールとは、文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに一回だけスクロールする「マニュアルモード(SCROLL AUTO OFF)」とスクロールを繰り返す「オートモード(SCROLL AUTO ON)」を搭載しています。CDテキストとフォルダ名、ファイル名、タグ情報が入っていれば、スクロール表示することができます。

設定項目： SCROLL AUTO

設定値： OFF / ON

ON： AUTO スクロールモードになり、スクロール表示を繰り返す。

OFF： AUTO スクロールモードを解除する。



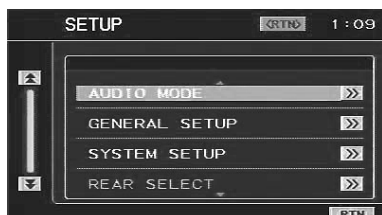
- OFF設定時は、曲が変わったときなど1回スクロール表示を行います。
- iPod接続時は、曲名、アーティスト名、アルバム名のスクロール表示を行います。

SYSTEM セットアップ

次の手順 1～5 は、SYSTEM セットアップの共通操作になります。セットアップ項目の詳細は、それぞれの設定項目を参照してください。

1 「MUTE/RTN / SETUP」を 2 秒以上押す。

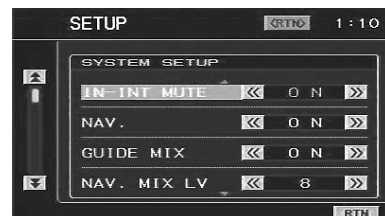
SETUP 画面に切りかわる。



2 「ジョイスティック」↑↓を押してSYSTEM SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。

SYSTEM SETUP 画面に切りかわる。

< SYSTEM SETUP 画面例 >



3 「ジョイスティック」↑↓を押して設定項目を選ぶ。

設定項目：

IN-INT MUTE / NAV. / GUIDE MIX / NAV. MIX LV / FACT SYS SET / FACT SYS LV / FACT SYS DET / FACT SYS MIX / F.SYS MIX TYP / F.SYS INT CH. / REMOTE SEL. *1 / AUX IN-1 (2,3) / AUX IN-1 (2,3) NAME / AUX IN-1 (2,3) LEVEL / MONITOR-1 / MONITOR-2 / VISUALIZER / ILLUM COLOR / CMNDR LIGHT. / DIMMER / SCREEN ADJ / SUBW *2

*1 「リアエンター機能」(11ページ)参照

*2 外部オーディオプロセッサ接続時は表示されません。

4 「ジョイスティック」←→を押して調整・設定する。

5 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。

設定前のメインソース画面に戻るには、「MUTE/RTN / SETUP」を繰り返し押す。



- 「□」/MENU /FUNC.」を2秒以上押した後、FUNCTION画面でSETUPを選択してもSETUP画面を呼び出すことが出来ます。

- SYSTEMセットアップモード時(システムが自動的に書き込みをしているとき)は、イグニッションキー(エンジンキー)をOFFにしないでください。イグニッションキー(エンジンキー)をOFFにすると、設定が変更されない場合があります。



●スピーカー入力を使う

お車のシステム(ナビゲーション/電話)を本機に割り込ませることができます。また、お車のシステムのオーディオ(CD等)をソースとして選択し、本機で再生することができます。本機はお車のシステムからの音声出力レベルを検出して、本機に割り込ませます。以下の各設定を正しく行わないと、音声が割り込まなかったり、大きな音で突然割り込んだりする場合があります。

スピーカー入力モードの設定

スピーカー入力で接続する、お車のシステム（ナビゲーション/電話）の入力方法を設定します。ラジオなどを聴いていても、ナビゲーションの音声案内や、電話の着信を本機に割り込ませることができます。また、ソース選択画面でスピーカー入力モード「FACTORY SYS」を選択することができます。

設定項目： FACT SYS SET

設定値： SOURCE / INT / BOTH / OFF

SOURCE：

お車のシステム（CDなど）をソースとして選択することができます。お車のナビ/電話の音声割り込みは行わない。

INT：

お車のナビ/電話の音声割り込みのみを行う。

BOTH：

お車のシステム（CDなど）をソースとして選択ことができ、また、お車のナビ/電話の音声割り込みも行う。

OFF：

スピーカー入力モードの操作・設定を行わない。



- マルチチャンネルスピーカーのお車で、「SOURCE」設定にてお車のシステム（CD等）を再生すると、高音が出ない等、音声が入りきれない場合があります。
- ご使用の状況に応じて、INTかSOURCEに設定することをお勧めします。
- INT設定時は、お車のシステムからCD等オーディオの音が出ないようにしてください。
- BOTH設定時は、ソースが「FACTORY SYS」時以外は、お車のシステムからCD等オーディオの音が出ないようにしてください。
- OFFに設定すると、スピーカー入力モード関連の設定はできなくなります。

スピーカー入力音量レベルの表示

スピーカー入力の音量レベルを数字で表示します。調整は、お車のシステム側（純正オーディオなど）で行ってください。本機から調整することはできません。

設定項目： FACT SYS LV

設定値： 0～2 L / 3～15：OK / 16～18 H

L： 音量レベル LOW

OK： 音量レベル OK

H： 音量レベル HIGH

OK となるように、音量レベル調整を行ってください。



- 音量レベル15を超えない範囲で、できるだけ大きな音量で設定してください。音が歪むような場合には、OK表示であっても、お車の音量を下げてご使用ください。
- お車のシステムの、TREBLE、BASS等のサウンド設定はOFFにしてください。
- 「スピーカー入力モードの設定」(15ページ)がOFFの時は、音量レベルを表示することはできません。

ナビゲーション/スピーカー入力音声の割り込み設定

当社のナビゲーション製品や、スピーカー入力で接続するお車のシステムと組み合わせた場合に設定します。ラジオなどを聴いていても、ナビゲーション側の音声案内や、お車のシステムのナビゲーション音声案内/電話の着信を本機に割り込ませることができます。

設定項目： GUIDE MIX

設定値： OFF / ON

OFF：ナビゲーション/スピーカー入力音声割り込みをさせない。

ON：ナビゲーション/スピーカー入力音声割り込みモードになる。

スピーカー入力の割り込み検出レベルの調整

スピーカー入力割り込みを検出する音量レベルを設定することができます。

設定項目： FACT SYS DET

設定値： 1～15

設定値が小さいと、低い音量レベルでも本機に割り込むようになります。



- 「スピーカー入力モードの設定」(15ページ)で、INTまたはBOTH設定時に設定することができます。
- お車によっては、シートベルト等の警告音がスピーカーから出力されます。そのようなお車では、正しく警告音が割り込まれるか確認してください。
- 初期値8でのご使用をお勧めします。頻繁に割り込みが発生する場合は8よりも大きく、割り込みが発生しにくい場合は8よりも小さく設定してください。

スピーカー入力音声の割り込み音量調整

スピーカー入力割り込みの、本機からの出力音量を設定できます。

設定項目： FACT SYS MIX

設定値： 0～15



- 「スピーカー入力モードの設定」(15ページ)で、INTまたはBOTH設定時に設定することができます。
- 外部オーディオプロセッサ接続時は、GUIDE MIXをONに、GUIDE MIX LVを15に設定してから本設定を行ってください。〔ナビゲーション/スピーカー入力音声の割り込み設定〕15ページ、〔GUIDE音声の音量設定〕11ページ参照

スピーカー入力音声の割り込みタイプの設定

スピーカー入力の音声割り込みのタイプを設定します。ナビゲーション案内音声を割り込ませる時はDEMAND、電話を割り込ませる時はMUTEに設定することをお勧めします。

設定項目： F.SYS MIX TYP

設定値： FULL / DEMAND / MUTE

FULL：

スピーカー入力割り込み検出レベルに関係なく、常にスピーカー入力からの音声が入力されます。ミックスされても本機の音量は変化しない為、スピーカー入力からの音声が聞きづらい場合、その都度本機の音量を調整してください。

DEMAND：

スピーカー入力割り込み検出時、スピーカーからの音声がミックスされます。本機の音声は、前回ミックス時に調整した音量になります。割り込み音声を5秒間検出しないと、自動的に割り込み前の音量に戻ります。

MUTE：

スピーカー入力割り込みが検出されると、本機の音声をMUTEし、スピーカー入力の音声のみになります。スピーカー入力の音声が聞きづらい場合、本機からスピーカー入力の音量を調整できます。割り込み中はコマンダーが点滅します。割り込みを解除するには、「SOURCE/POWER」を押してください。



- 「スピーカー入力モードの設定」(15ページ)で、INTまたはBOTH設定時に設定することができます。

スピーカー入力割り込み検出のチャンネル設定

お車のシステム(ナビゲーション/電話)の出力スピーカーにあわせて設定してください。

設定項目： F.SYS INT CH.

設定値： L / R / BOTH

L： お車のシステムの左のスピーカーから出力される

R： お車のシステムの右のスピーカーから出力される

BOTH：お車のシステムの両方のスピーカーから出力される



- 通常はBOTHに設定してご使用ください。
- 「スピーカー入力モードの設定」(15ページ)で、INTまたはBOTH設定時に設定することができます。
- 本設定に関わらず、スピーカー入力割り込み音声は、入力される音声をミックスして、フロント左右のスピーカーから出力されます。

●ナビゲーションを接続する

アルパイン製ナビゲーションを接続した場合、以下の各設定と、「ナビゲーション/スピーカー入力音声の割り込み設定」(15ページ)を行ってください。

ナビゲーションモードを設定する

別売のナビゲーション製品を接続した場合は、ONに設定してください。

設定項目： NAV.

設定値： OFF / ON

ON： ナビゲーションソースを表示させる。

OFF： ナビゲーションソースは表示されず、案内画面の割り込み表示も行わない。本機からのナビゲーション関連の設定は出来なくなる。

ナビゲーション音声の割り込み音量調整

ナビゲーション音声案内の音量を設定できます。

設定項目： NAV. MIX LV

設定値： 0 ~ 15



- NAV.設定がONのときに設定することができます。「ナビゲーションモードを設定する」16ページ参照)

●外部入力製品を接続する(AUX)

外部入力製品を接続した場合、以下の各設定を行ってください。

AUX モードを設定する

設定項目： AUX IN-1,2,3

設定値： OFF / ON

OFF： AUX ソース表示はされない。

ON： AUX ソースは表示される。



- OFFに設定すると、本機からのAUX関連の設定は出来なくなります。
- AUX IN-3は、外部拡張BOX(VPE-S431)接続時のみ設定することができます。
- 別売のDVDプレイヤー、DVDチェンジャーをAi-NET接続している場合は、OFFは表示されません。
- AUX IN-1にDVDプレイヤーまたはDVDチェンジャーのどちらかを接続している場合は、DVDと表示され、どちらも接続している場合は、AUX IN-1にDVDと表示し、AUX IN-2にDVD CHANGERと表示されます。

外部入力に表示名をつける

外部入力製品を接続した場合、それぞれ(外部入力製品3台まで)に表示名をお好みでつけることができます。

設定項目： AUX IN-1,2,3 NAME

設定値： AUX / VCR / GAME-1,2 / TV / EXT DVD * / DTV

※ ソース選択画面上でDVDプレイヤー1台接続時は、EXT.DVDと表示され、複数のAUXでNAME設定を“EXTDVD”にした場合(外部Ai-NET対応DVDプレイヤー接続時含む)ソース選択画面上に“DVD-1~3”と表示されます。



- 選んだ表示名がAUXモードのソース名に切りかわる。TV/EXT.DVD/DTVのソースを選択すると各モードのファンクションガイドに切りかわります。
- AUX IN設定がONのときに設定することができます。〔AUXモードを設定する〕16ページ参照〕
- Ai-NET対応DVDプレイヤー/DVDチェンジャーを接続した場合は、自動的に名称も設定され、変更することはできません。

外部入力音声レベルの調整

設定項目： AUX IN-1,2,3 LEVEL

設定値： LOW / HIGH

LOW： 外部入力の音声レベルを小さめに設定する。

HIGH： 外部入力の音声レベルを大きめに設定する。



- AUX IN設定がONのときに設定することができます。〔AUXモードを設定する〕16ページ参照〕

●リアモニターを接続する

リアモニターを接続する場合、以下の各設定を行ってください。

外部モニター出力の設定

リアエンター機能（11ページ）を使用するときはONに設定する。

設定項目： MONITOR-1 ～ 2

設定値： OFF / ON

ON： 接続している外部モニターの出力をONにし、リモコン操作を受け付ける。

OFF： MONITOR-1 または 2 のどちらかをOFFにすると、リアエンター機能で設定できるモニターは1台となる。

MONITOR-1 と2どちらもOFFにすると、リアエンター機能は使用できない。



- 別売の拡張BOX（VPE-S431）接続時に本設定ができます。

VISUALIZER の設定

VISUALIZERをお好みに設定します。OFF以外に設定すると、リアモニターにVISUALIZERを表示させることができます。但し、本設定は別売拡張BOX（VPE-S431）接続時のみ有効です。

設定項目： VISUALIZER

設定値： MODE-1 ～ MODE-6 / SCAN / OFF

MODE-1 ～ MODE-6、OFF：

拡張BOX（VPE-S431）側のメーカーズ設定モードを呼び出す。

SCAN：

MODE-1 ～ MODE-6のパターンを繰り返し表示する。



- リアモニターにVISUALIZERを表示させるには、リアモニターのソースをVISUALに設定してください。〔リアエンター機能〕11ページ参照〕

●サブウーハーを接続する

サブウーハー接続時は、ON に設定してください。

サブウーハーのON/OFF

設定項目： SUBW

設定値： OFF / ON

OFF： サブウーハー出力はOFFになる。

ON： サブウーハー出力はONになる。



- PXA-H700またはPXA-H701を接続している場合は、下記で設定してください。SETUP画面からAP SETUPを選び、さらにSPEAKER SELECTを選びSPEAKER SELECT画面にて、SUBWOOFER:OFF/MONO/STEREOを設定してください。

●コマンドーの設定を行う

本機付属のコマンドーの、照光ボタンの色や明るさなどの設定を行うことができます。

コマンドー照光ボタンの色を設定する

コマンドーの照光ボタンの色を設定します。

設定項目： ILLUM COLOR

設定値： BLUE / RED

BLUE： ナビゲーション以外のソース操作時はブルー、ナビゲーション操作時には赤。

RED： ナビゲーション以外のソース操作時は赤、ナビゲーション操作時にはブルー。

コマンドー照光ボタンのON/OFF

5分間コマンドーを操作していない時の、コマンドーの照光ボタンの点滅 / 点灯を設定します。

設定項目： CMNDR LIGHT.

設定値： ON / OFF

ON： コマンドーの照光ボタンが点滅する。

OFF： コマンドーの照光ボタンが点灯する。（点滅しない）

コマンドー照光ボタンの明るさ調整

「AUTO」に設定すると、スモールライト点灯の時、コマンドーの照光ボタンが減光します。夜間、コマンドーの照光ボタンが明るすぎる場合には「AUTO」にすることを勧めます。

設定項目： DIMMER

設定値： OFF / ON / AUTO

OFF： コマンドーの照光ボタンをの明るさが最大になる。

ON： コマンドーの照光ボタンの明るさが最小になる。

AUTO： ヘッドライト点灯時、コマンドーの照光ボタンが減光する。



- 本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。

●その他の設定

外部割り込みモードの設定

Versatile Link Terminal (KCA-4100)と組み合わせると、音楽CD再生対応ナビゲーションでのCD音声などの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

設定項目： IN-INT MUTE

設定値： OFF / ON

OFF： 外部割り込みモードになり音声出力される。

ON： 外部割り込みモードになるが、音声は出力されない。



- この機能は、対応製品との組み合わせで、INT（音声割り込み）コードが接続されている場合に有効です。

画面の位置調整

接続モニターにより、画面表示がずれてしまうときがあります。また、タッチパネル操作時は、LCD上の表示位置とタッチパネル上のタッチ位置が一致しなくなった場合に調整してください。

設定項目： SCREEN ADJ

設定値： >>

■タッチパネル非対応モニター接続時の調整

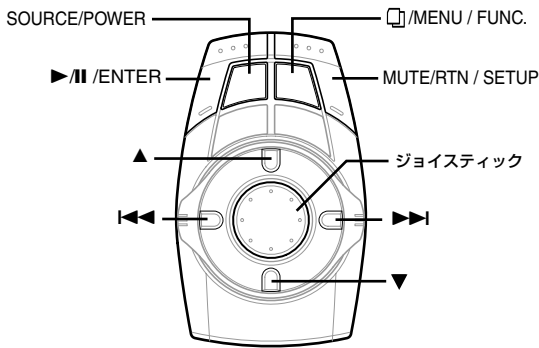
画面表示位置を調整します。コマンダーから操作を行います。

- 1 SCREEN ADJで「ジョイスティック」→を押す。
調整画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓←→を押して、画面の位置を調整する。
- 3 「▶/II/ENTER」を押す。
調整を終了して、メインソース画面に戻る。

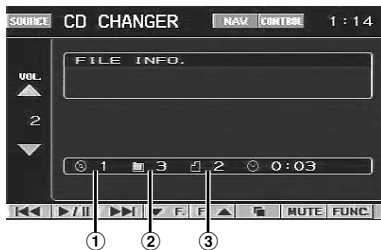
■タッチパネル対応モニター接続時の調整

画面表示位置とタッチスイッチ位置を調整します。タッチスイッチで操作を行います。

- 1 SCREEN ADJで[>>]にタッチする。
- 2 [▲][▼][◀][▶]にタッチして、画面の位置を調整し、[ENT]にタッチする。
TOUCH LOCATE 画面が表示される。
- 3 左下の[X]マークの中心部に正確にタッチする。
調整画面が切りかわる。
- 4 右上の[X]マークの中心部に正確にタッチし、[ENT]にタッチする。
調整を終了して、メインソース画面に戻る。



< MP3/WMA モード画面例 >



- ① ディスク No. 表示
- ② フォルダ No. 表示
- ③ ファイル No. 表示

CD/MD/MP3/WMA 操作 (オプション)

CD/MD/MP3/WMA を聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押す。
ソース選択画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓で CD/MD/MP3/WMA モード (CD CHANGER など) を選び、「▶/||/ENTER」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を 2 秒以上押してディスクを選択する。(チェンジャー接続時)
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して聴きたい曲を選ぶ。
 - 演奏中の曲の頭出し 「◀◀」を押す。
 - 早戻し 「◀◀」を押し続ける。
 - 次の曲の頭出し 「▶▶」を押す。
 - 早送り 「▶▶」を押し続ける。
- 5 演奏を一時停止するときは、「▶/||/ENTER」を押す。
再度「▶/||/ENTER」を押すと、演奏が再開する。



- CD/MD再生中は、モニター画面にCD/MDの状態(トラックNo.、TEXTなど)が表示されます。
- MP3/WMAを再生中は、モニター画面にMP3/WMAの状態(フォルダNo.、ファイルNo.、タグ情報など)が表示されます。
- 日本語表示や全角文字など、本機で対応していない文字情報は「NO SUPPORT」と表示されます。
- 別売のDVDチェンジャーを接続した場合、CDチェンジャー同様に操作することができます。
詳しい操作については、DVDチェンジャー側の取扱説明書をご覧ください。

- 別売のVersatile Link Terminal(KCA-410C)を使用し、チェンジャー2台を接続している場合にチェンジャーを切りかえるには
 - 1 「□/MENU/FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION画面が表示される。
 - 2 「ジョイスティック」↑↓を押してCHG SELを選び、「▶/||/ENTER」を押す。



セッティング/
CD/MD/MP3/WMA

フォルダを選択する

- 1 MP3/WMA再生中に「▲」または「▼」を押して前後のフォルダを選ぶ。

フォルダ/ファイルサーチ

MP3/WMA再生中、ディスク内のフォルダ名リストまたはファイル名リストを表示して、フォルダまたはファイルを検索し演奏させることができます。

フォルダサーチモード：

ディスク内の全てのフォルダから希望のフォルダを検索します。

ファイルサーチモード：

フォルダサーチで選んだフォルダからファイルを検索します。

- 1 MP3/WMA再生中に「□/MENU/FUNC.」を押す。
フォルダサーチモードになり、フォルダ名リストが表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してフォルダを選ぶ。
- 3 「▶/||/ENTER」を押す。
選んだフォルダの1曲目が演奏される。

選んだフォルダの中の曲を検索するには

- 1 上記手順2でフォルダ選択後、「ジョイスティック」→を押して選んだフォルダのファイルサーチモードに切りかえる。
・フォルダの中にファイル名リストがある場合には「>」が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してファイルを選び、「▶/⏮/ENTER」を押す。
選んだファイルが再生される。



- サーチモード中に「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- フォルダ名のないルートフォルダは「ROOT」と表示されます。
- M.I.X.演奏中は、フォルダ/ファイルサーチはできません。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「□/MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面が表示される。
 - 2 「ジョイスティック」↑↓を押してM.I.X.を選ぶ。
- M.I.X. »表示時 (チェンジャー接続時)**
- 3 「ジョイスティック」→を押す。
 - 4 「ジョイスティック」↑↓を押してM.I.X. モードを選び、「▶/⏮/ENTER」を押す。
順不同に曲を演奏する。

CD/MD :

- M.I.X. : ディスク内の曲を順不同に演奏。
M.I.X. ALL : 1 曲ずつディスクを変えながら演奏。
(M.I.X. ALL 対応チェンジャーのみ)
OFF : M.I.X. モード OFF

MP3/WMA :

- M.I.X. FLD : フォルダ内のみを対象に順不同に演奏。
M.I.X. : ディスク内の曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへ移動していく。
OFF : M.I.X. モード OFF

▶ M.I.X. 表示時

- 3 「▶/⏮/ENTER」を押す。
M.I.X. モードが切りかわる。

CD/MD :

M.I.X. ←→ OFF

MP3/WMA :

→ M.I.X. FLD → M.I.X. → OFF



- チェンジャーによってはM.I.X.演奏に制限のあるモデルがあります。詳しくはチェンジャー側の取扱説明書を参照してください。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 「□/MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してREPEATを選ぶ。

REPEAT »表示時 (チェンジャー接続時)

- 3 「ジョイスティック」→を押す。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してREPEATモードを選び、「▶/⏮/ENTER」を押す。
選んだ曲を繰り返し演奏する。

CD/MD :

- RPT : 1 曲のみを繰り返し演奏する。
RPT DISC* : そのディスクを繰り返し演奏する。
OFF : リピートモード OFF

MP3/WMA :

- RPT : 1 曲のみを繰り返し演奏する。
RPT FLD : フォルダ内の曲のみを繰り返し演奏する。
RPT DISC* : そのディスクを繰り返し演奏する。
OFF : リピートモード OFF

*チェンジャー接続時のみ

▶ REPEAT 表示時

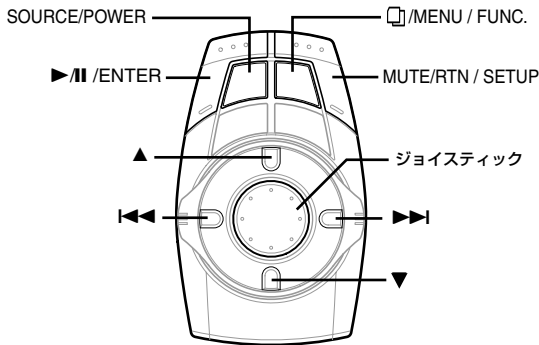
- 3 「▶/⏮/ENTER」を押す。
リピートモードが切りかわる。

CD/MD :

RPT ←→ OFF

MP3/WMA :

→ RPT → RPT FLD → OFF



DVD/ビデオCD 操作 (オプション)

アルパイン製DVDプレーヤー/チェンジャーの基本的な操作を、本機付属のコマンドーから行うことができます。接続するDVDプレーヤー/チェンジャーの取扱説明書も参照してください。

ディスクによっては、本機付属のコマンドーで操作が受け付けられない場合があります。本機付属のコマンドーでDVD操作ができない場合には、DVDプレーヤー/チェンジャーに付属のリモコンを使用してください。

DVD/ビデオCDを再生する

- 1 「SOURCE/POWER」を押す。
ソース選択画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓でDVDモード (EXT.DVDまたはDVD CHANGERなど) を選び、「▶/II / ENTER」を押す。

● メニュー画面が表示されたら

DVDやプレイバックコントロール (PBC) 付きビデオCDでは、自動的にメニュー画面が表示される場合があります。本機付属のコマンドーからは、DVDメニューの操作を行うことができます。

次の操作を行い、再生させてください。

「ジョイスティック」↑↓←→を押して項目を選び、「▶/II / ENTER」を2秒以上押して決定する。



- ビデオCDのメニュー画面は、本機付属のコマンドーで操作を行うことができません。
- 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、前の画面に戻ります。
- ディスクによって異なりますが、FUNCTION画面からもメニュー画面を呼び出すことができます。「Q / MENU / FUNC.」を2秒以上押した後、MENUを選択した状態で「▶/II / ENTER」を押してください。

静止 (一時停止) する

- 1 再生中に「▶/II / ENTER」を1回押す。
- 2 再度、再生するには「▶/II / ENTER」を押す。

チャプター/トラックの頭出し

- 1 再生中に「⏮」または「⏭」を押す。
押すたびにチャプター/トラックが切りかわる。選んだチャプター/トラックの再生が始まる。

- ⏭ 一つ後のチャプター/トラックの頭から再生。
- ⏮ 現在のチャプター/トラックの頭から再生。



- DVDによっては、チャプターが無いものもあります。

補足説明

チャプターとは、DVDに記憶されている映像や曲の区切り。トラックとは、ビデオCDやCDに記憶されている映像や曲の区切り (1曲分)。

早送り / 早戻し

- 1 再生中に「⏮」 (早戻し) または「⏭」 (早送り) を押し続けると、早送り / 早戻しする。
- 2 通常再生に戻すには「⏮」または「⏭」をはなす。

トップメニュー画面を表示する (DVDのみ)

複数のタイトルを持つDVDでは、トップメニュー画面が表示されます。

- 1 「Q / MENU / FUNC.」を押す。
メニュー画面が表示される。
→ 「メニュー画面が表示されたら」 (21ページ) を参照して操作を行う。

ディスクの切りかえ (DVD チェンジャー接続時のみ)

- 1 「▲」または「▼」を2秒以上押す。
ディスクが切りかわる。



- 「□ / MENU / FUNC.」を2秒以上押した後、FUNCTION画面でDISC SELECTを選択して「▶/II / ENTER」を押してもディスクを切りかえることができます。

再生中止 (PRE STOP)

再生中にPRE STOPモードにすると、その位置を記憶します。

- 1 再生中に「□ / MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してSTOP/PRE STOPを選び、「▶/II / ENTER」を押す。
PRE STOPと表示される。
- 3 PRE STOP中に「▶/II / ENTER」を押す。
再生中止した位置から再生される。



- ディスクによってはPRE STOPしたとき、再生中止位置を正しく記憶できない場合があります。
- DVDプレイヤー/チェンジャーをAi-NETで接続している場合は、ビデオCDのFUNCTION画面にSTOP/PRE STOPは表示されません。

再生停止

- 1 PRE STOP中に「□ / MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してSTOP/PRE STOPを選び、「▶/II / ENTER」を押す。
STOPと表示される。



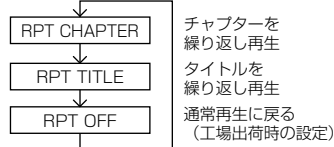
- 停止中に「▶/II / ENTER」を押すと、初めから再生されます。
- DVDプレイヤー/チェンジャーをAi-NETで接続している場合は、ビデオCDのFUNCTION画面にSTOP/PRE STOPは表示されません。

チャプター/トラック/タイトル リピート再生

ディスクのタイトルやチャプター、トラックを選び繰り返し再生できます。

- 1 「□ / MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してREPEATを選び、「▶/II / ENTER」を押す。
次の順番でリピートモードが切りかわる。

DVD



ビデオ CD



- ディスクによってはリピートの種類が切りかえられない場合があります。
- 接続している製品によっては、リピートの種類が切りかえられない場合があります。
- PBC(プレイバックコントロール)付きビデオCDではトラックリピート/ディスクリピートは使用できません。

音声言語切りかえ

複数の音声または音声言語が記録されているDVDでは、再生中に音声言語を切りかえることができます。

- 1 再生中に「 /MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してAUDIOを選び、「▶/II / ENTER」を押す。
ディスクに記録されている音声切りかわる。



Memo

- 電源投入時/ディスク交換時は初期設定で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから音声を選んでください。
- 音声変更まで多少時間がかかる場合があります。

● 多重音声記録されているビデオ CD

- 1 「 /MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してAUDIOを選び、「▶/II / ENTER」を押す。
Lチャンネル、Rチャンネル音声の組み合わせが変わる。

→ AUDIO L/L → AUDIO R/R → AUDIO L/R →



Memo

- DVDプレイヤー/チェンジャーをAi-NETで接続している場合は、ビデオCDのFUNCTION画面にAUDIOは表示されません。

サブタイトル（字幕言語）切りかえ (DVDのみ)

複数の字幕言語が記録されているDVDでは、再生中に字幕言語の切りかえや非表示にすることができます。

- 1 再生中に「 /MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してSUB TITLEを選び、「▶/II / ENTER」を押す。
ディスクに記録されている字幕言語が切りかわる。また字幕をOFFにする。



Memo

- 字幕言語変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから選んでください。
- 電源投入時/ディスク交換時は初期設定で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
但し、ディスクによっては、異なる場合があります。
- ディスクによってはOFFに設定しても、サブタイトルが表示される場合があります。
但し、ディスクによっては、異なる場合があります。

アングル切りかえ (DVDのみ)

複数のアングルで撮影された映像が記録されているDVDでは、再生中にアングル(角度)を切りかえることができます。

- 1 再生中に「 /MENU / FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してANGLEを選び、「▶/II / ENTER」を押す。
ディスクに記録されているアングルが切りかわる。



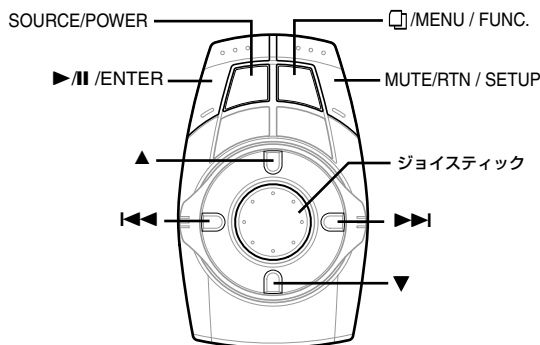
Memo

- アングル変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによって異なりますがアングル切りかえには2種類あります。
 - ・シームレス: つぎめなくスムーズにアングルが切りかわる。
 - ・ノンシームレス: アングル切りかえ時、一瞬静止画となりその後アングルが切りかわる。

- ディスクメニューからの切りかえ
ディスクによって異なりますが、音声言語、アングル、サブタイトルをディスクメニューから切りかえることができます。

- 1 「 /MENU / FUNC.」を押して、メニューを表示させる。
- 2 項目を選び、設定する。
(「メニュー画面が表示されたら」(21ページ)参照)





< iPod モード画面例 >



iPod® 操作 (オプション)

iPod®をFULL SPEED™ Connection Cable(KCE-422i)を使用して本機に接続すると、本機から操作することができます。その際、iPod からの操作はできなくなります。

- iPod の機能については、iPod ユーザーズガイドを参照してください。
- 別売のINTERFACE ADAPTER FOR iPod™ (KCA-420i) を使用して接続することはできません。

本機対応の iPod について

- 本機は、第3世代以降のiPod/iPod photo/iPod mini/iPod nanoに対応しております。iPod shuffleには対応していません。
- Dockコネクタに対応していないタッチホイール、スクロールホイールタイプのiPodは、本機に接続することはできません。
- 本機に対応しているiPodのバージョンは次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証および性能保証は致しかねます。
 第3世代 iPod : Ver 2.3
 第4世代 iPod : Ver 3.0.2
 iPod photo : Ver 1.1
 iPod mini : Ver 1.3
 iPod nano : Ver 1.0
- 本機はiPod Update 2005-02-22より前のソフトウェア・バージョンには対応していません。「iPodソフトウェア・アップデート」について詳しくは、iPodユーザーズガイドを参照してください。

iPod® の曲を聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押す。
ソース選択画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓で iPod モードを選び、「▶/|| /ENTER」を押す。
- 3 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。
 ● 演奏中の曲の頭出し 「◀◀」を押す。
 ● 早戻し 「◀◀」を押し続ける。
 ● 次の曲の頭出し 「▶▶」を押す。
 ● 早送り 「▶▶」を押し続ける。
- 4 演奏を一時停止するときは、「▶/|| /ENTER」を押す。
再度「▶/|| /ENTER」を押すと、演奏が再開する。



Memo

- 再生中のiPodを本機と接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- 半角英数記号のみ、表示することができます。
- iTunesでアーティスト名、アルバム名、曲名を設定するときに、文字数が多くなると本機接続時に曲が再生されない場合があります。250文字以内に設定することをお勧めします。詳しくはインフォメーションセンターにお問い合わせください。ただし、本機で表示可能な文字数は64文字(64byte)までになります。
- 文字を正確に表示できない場合があります。
- 日本語表示や全角文字など本機で対応していない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。

聴きたい曲を探す

iPodには数百曲・数千曲が入るため、聴きたい曲を探し出すのが大変です。そのため、本機ではさまざまな検索が可能になっています。



Memo

- サーチモード中に「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- 日本語表示や全角文字など本機で対応していない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。
- M.I.X.演奏中は、サーチすることができません。

Playlist (プレイリスト) から探す

- 1 「□ /MENU / FUNC.」を押す。
SEARCH画面に切りかわる。
- 2 「ジョイスティック」↑ ↓を押してPLAYLIST SEARCHを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 3*1 「ジョイスティック」↑↓を押してプレイリストを選ぶ。
- 4 「▶/|| / ENTER」を押す。
選んだプレイリストが再生される。

選んだプレイリストの中の曲を検索するには

- 1 上記手順3*1でプレイリスト選択後、「ジョイスティック」→を押して選んだプレイリストのSONGサーチモードに切りかえる。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押して曲を選び、「▶/⏏ / ENTER」を押す。
選んだ曲が再生される。

**Memo**

- 手順3*1でiPodに登録されている「iPod名」を選択すると、iPod内の全ての曲の再生を行います。

アーティスト名から探す

- 1 「□ / MENU / FUNC.」を押す。
SEARCH画面に切りかわる。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してARTIST SEARCHを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 3*2「ジョイスティック」↑↓を押してアーティストを選ぶ。
- 4 「▶/⏏ / ENTER」を押す。
選んだアーティストの曲が全曲再生される。

選んだアーティストの中のアルバムを検索するには

- 1 上記手順3*2でアーティスト選択後、「ジョイスティック」→を押して選んだアーティストのALBUMサーチモードに切りかえる。
- 2*1「ジョイスティック」↑↓を押してアルバムを選ぶ。
- 3 「▶/⏏ / ENTER」を押す。
選んだアルバムの曲が全曲再生される。

選んだアルバムの中の曲を検索するには

- 1 上記手順2*1でアルバム選択後、「ジョイスティック」→を押して選んだアルバムのSONGサーチモードに切りかえる。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押して曲を選び、「▶/⏏ / ENTER」を押す。
選んだ曲が再生される。

**Memo**

- 手順3*2でALLを選び「▶/⏏ / ENTER」を押すと、iPod内の全ての曲の再生を行います。ALLを選び「ジョイスティック」→を押すと、全てのアーティストのALBUMサーチモードになります。
- 手順2*1でALLを選び「▶/⏏ / ENTER」を押すと、選んだアーティストの全ての曲の再生を行います。ALLを選び「ジョイスティック」→を押すと、選んだアーティストのSONGサーチモードになります。

アルバム名から探す

- 1 「□ / MENU / FUNC.」を押す。
SEARCH画面に切りかわる。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してALBUM SEARCHを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 3*3「ジョイスティック」↑↓を押してアルバムを選ぶ。
- 4 「▶/⏏ / ENTER」を押す。
選んだアルバムが再生される。

選んだアルバムの中の曲を検索するには

- 1 上記手順3*3でアルバム選択後、「ジョイスティック」→を押して選んだアルバムのSONGサーチモードに切りかえる。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押して曲を選び、「▶/⏏ / ENTER」を押す。
選んだ曲が再生される。

**Memo**

- 手順3*3でALLを選び「▶/⏏ / ENTER」を押すと、iPod内の全ての曲の再生を行います。ALLを選び「ジョイスティック」→を押すと、全てのアルバムのSONGサーチモードになります。

曲名から探す

- 1 「□ / MENU / FUNC.」を押す。
SEARCH画面に切りかわる。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してSONG SEARCHを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押して曲を選ぶ。
- 4 「▶/⏏ / ENTER」を押す。
選んだ曲が再生される。

プレイリスト/アーティスト/アルバムを選ぶ

簡単な操作でプレイリスト/アーティスト/アルバムを切りかえることができます。

例えば、任意のアルバムに絞り込んでお聞きの場合は、アルバムを切りかえることができます。

- 1 「▲」または「▼」を押して聴きたいプレイリスト/アーティスト/アルバムを選ぶ。



- サーチを行っていない、またはSONGサーチのみしか行っていない場合は、操作できません。
- アーティストサーチからアルバムを絞り込んだ場合は、アルバムが対象となります。
- シャッフル(M.I.X.)演奏中は、操作できません。

曲順を変えて聴く シャッフル (M.I.X. ミックス)

iPod のシャッフル機能は、M.I.X. と表示されます。

- 1 「□/MENU/FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面に切りかわる。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押して M.I.X. を選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押して希望の M.I.X. モードを選び、「▶/||/ENTER」を押す。

M.I.X. ALBUM (シャッフル・アルバム) :

iPod 内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

あらかじめプレイリスト・アーティストサーチモードで曲が選択されていた場合、そのプレイリスト・アーティスト内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

M.I.X. SONGS (シャッフル・曲) :

プレイリスト・アーティスト・アルバムサーチモードで曲を選択した場合に、そのプレイリスト・アーティスト・アルバムの曲を全曲、順不同に演奏する。

M.I.X. ALL :

iPod 内の全曲を順不同に演奏する。

OFF :

M.I.X. モード OFF

- 4 解除するには、左記手順 3 で OFF を選び、「▶/||/ENTER」を押す。

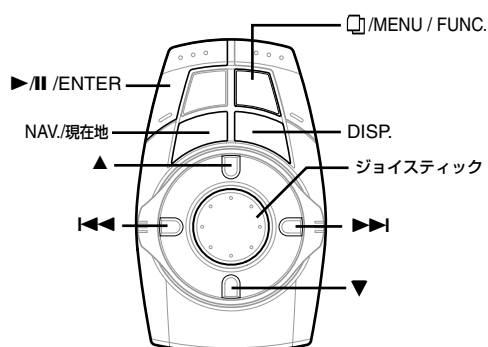


- サーチモードについて詳しくは「聴きたい曲を探す」(24ページ)を参照してください。
- アルバムサーチモードで曲を選んでした場合、シャッフル・アルバムを選択してもシャッフル(M.I.X.)再生されません。
- シャッフル・ALL(M.I.X. ALL)を選択すると、サーチで選択した再生中の内容は解除されます。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

iPod モードでのリピート機能は 1 曲リピートのみになりません。

- 1 「□/MENU/FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面に切りかわる。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押して REPEAT を選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押して RPT を選び、「▶/||/ENTER」を押す。
選んだ曲を繰り返し演奏する。
- 4 解除するには、上記手順 3 で OFF を選び、「▶/||/ENTER」を押す。



ナビゲーション操作 (オプション)

アルパイン製ナビゲーションの一部の操作を、本機付属のコマンドーから行うことができます。操作について詳しくは、接続するナビゲーションの取扱説明書も参照してください。



- NVA-HD55など、リモコン操作に対応していない、タッチ操作のみのナビゲーション接続時は、コマンドーから操作を行うことはできません。

ナビゲーション画面を表示する

アルパイン製ナビゲーションと接続した場合は、簡単にナビゲーション画面を表示することができます。

- 1 「DISP.」を押す。
ナビゲーション画面に切りかわる。
- 2 解除するには再度「DISP.」を押す。

ナビゲーション操作モードにする

アルパイン製ナビゲーションを接続した場合は、簡単にナビゲーション画面を表示することができ、また一部の操作を行うことができます。

- 1 「NAV./ 現在地」を押す。
ナビゲーション画面に切りかわり、ナビゲーション操作モードになる。
- 2 操作モードを解除し、操作前のメインソース画面に戻るには「DISP.」を押す。
「DISP.」を2秒以上押すと、ナビゲーション画面を表示したまま操作モードを解除し、音声は操作前のソースになります。



Memo

- ソース選択画面でナビゲーションモードを選択している場合には、「DISP.」を押してもナビゲーションモードは解除されません。
- ナビゲーション操作モードでは、コマンドーの照光ボタンの色が変わります。「コマンドー照光ボタンの色を設定する」(17ページ)を参照してください。

地図画面を操作する

現在地を表示する

- 1 ナビゲーション画面表示時に「NAV./ 現在地」を押す。
現在地画面が表示される。

画面をスクロールする

- 1 「ジョイスティック」を押す。
押した方向に画面がスクロールする。

画面縮尺を切りかえる

- 1 「▲」または「▼」を押す。
押すたびに狭い範囲、または広い範囲の地図を表示する。押しつづけると連続して変化する。

メニュー画面を操作する

- 1 ナビゲーションモードで「MENU / FUNC.」を押す。
ナビメニュー画面に切りかわる。
- 2 「ジョイスティック」↑↓←→を押して、項目を切りかえる。
- 3 「▶/|| / ENTER」を押して決定する。



Memo

- 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻ります。

HDD/MD/MS プレーヤー 操作 (オプション)

HDD/MD/ “MG メモリースティック” の曲を聴く

当社の HDD/MD/MS プレーヤー製品と接続した場合は、本機から一部操作が可能です。

- 1 「SOURCE/POWER」を押す。
ソース選択画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓で MM DRIVER を選び、「▶/|| / ENTER」を押す。
MM DRIVER モードメイン画面に切りかわる。

3 「▲」を2秒以上押して、モードを切りかえる。

MD/MS プレイヤー：MD モード / “MG メモリースティック” モードを切りかえる。
HDD/ MS プレイヤー：HDD モード / “MG メモリースティック” モードを切りかえる。

4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

- ・ 曲の頭出し 「◀◀」または「▶▶」を押す。
- ・ 曲の早送り / 早戻し ... 「◀◀」または「▶▶」を押し続ける。

5 演奏を一時停止するときは、「▶/|| / ENTER」を押す。 再度「▶/|| / ENTER」を押すと、演奏が再開する。

地上デジタルテレビ操作 (オプション)

アルパイン製地上デジタルテレビチューナーの一部の操作を、本機付属のコマンドーから行うことができます。接続するテレビチューナーの取扱説明書も参照してください。

- ・ 外部入力の実示名をDTVに設定してください。(「外部入力に実示名をつける」16 ページ参照)

地上デジタルテレビモードにする

- 1 「SOURCE/POWER」を押す。
ソース選択画面が実示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓でDTVを選び、「▶/|| / ENTER」を押す。
DTV モードメイン画面に切りかわる。

チャンネルを選ぶ

手動でチャンネルを選びます。

- 1 「▶/|| / ENTER」を押して、◀CH、CH▶を実示させる。
選局方法がチャンネルに切りかわる。
◀CH、CH▶ ↔ ◀P.SET、P.SET▶
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押す。
◀◀：チャンネルが1つずつダウンする。押し続けると、連続して変化する。
▶▶：チャンネルが1つずつアップする。押し続けると、連続して変化する。

登録したチャンネルを呼び出す

あらかじめプリセット番号にチャンネルが登録されている場合に、呼び出すことができます。

1 「▶/|| / ENTER」を押して、◀P.SET、P.SET▶を実示させる。

選局方法がプリセット番号に切りかわる。

◀CH、CH▶ ↔ ◀P.SET、P.SET▶

2 「◀◀」または「▶▶」を押す。

◀◀：プリセット番号が1つずつダウンする。

▶▶：プリセット番号が1つずつアップする。



Memo

●登録されていないプリセット番号はスキップします。

番組情報を見る (EPG)

受信中の番組情報や次番組の情報を実示することができます。さらに詳細な情報を実示することもできます。

- 1 「□/MENU /FUNC.」を押す。
受信中の番組情報と次番組の番組情報が実示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓↔を押してEPG画面の項目を選び、「▶/|| / ENTER」を2秒以上押す。

メニュー画面を実示する

地上デジタルテレビチューナーのメニュー画面を実示します。

- 1 「□/MENU /FUNC.」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面が実示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓を押してMENUを選び、「▶/|| / ENTER」を押す。

テレビ操作 (オプション)

アルパイン製地上テレビチューナーの一部の操作を、本機付属のコマンドーから行うことができます。接続するテレビチューナーの取扱説明書も参照してください。

- ・ 外部入力の実示名をTVに設定してください。(「外部入力に実示名をつける」16 ページ参照)

テレビモードにする

- 1 「SOURCE/POWER」を押す。
ソース選択画面が実示される。

- 2 「ジョイスティック」↑↓ でTV を選び、「▶/■ / ENTER」を押す。
TV モードメイン画面に切りかわる。

- 3 「▲」を2秒以上押してバンドを選ぶ。

自動的にチャンネルを記憶する

- 1 「▶/■ / ENTER」を2秒以上押す。
電波の強いチャンネルを選択して、プリセット番号に記憶する。
オートメモリーが終わると、自動的に電波の強いチャンネルを受信する。

登録したチャンネルを呼び出す

あらかじめプリセット番号にチャンネルが登録されている場合に、呼び出すことができます。

- 1 「▶/■ / ENTER」を押して、チューニングモードをプリセット番号選択モードにする。
マニュアルモード ↔ プリセット番号選択モード
(SEEKモード)

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、プリセット番号を切りかえる。

チャンネルを選ぶ

- 1 「▶/■ / ENTER」を押して、チューニングモードをマニュアルモードにする。
マニュアルモード ↔ プリセット番号選択モード
(SEEKモード)



- SEEKモードのとき受信可能な放送局(チャンネル)を自動的に探します。
- マニュアルモードのとき、1段階ずつチャンネルがかわります。

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してチャンネルを選ぶ。
「◀◀」または「▶▶」を押すとチャンネルが1つずつ切りかわる。(マニュアルモード) 押し続けると、受信可能なチャンネルを自動で探し出し受信する。(SEEKモード)

音声多重機能を使う(二重音声放送)

二重音声放送受信時、主音声と副音声を切りかえます。

- 1 「□ / MENU / FUNC」を2秒以上押す。
FUNCTION 画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓ を押してAUDIO を選び、「▶/■ / ENTER」を押す。

AUX 操作 (オプション)

AUX (外部入力) モードにする

外部機器(ビデオデッキなど)を接続した場合にご使用ください。

- 1 「SOURCE/POWER」を押す。
ソース選択画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓ でAUX モードを選び、「▶/■ / ENTER」を押す。
AUX モードメイン画面に切りかわる。



Memo

- AUXモードは、「AUXモードを設定する」(16ページ)のAUX INをONに設定すると表示されます。
- AUX3は外部拡張BOX(VPE-S431)接続時のみ表示されます。
- Versatile Link Terminal(KCA-410C)接続時、KCA-410Cの外部入力は無効になります。ただし、IN-INT MUTEをOFFに設定すると、KCA-410Cの外部入力に接続した製品の音声を割り込ませることができます。('外部割り込みモードの設定'18ページ参照)

FACTORY SYS 操作

FACTORY SYS (スピーカー入力) モードにする

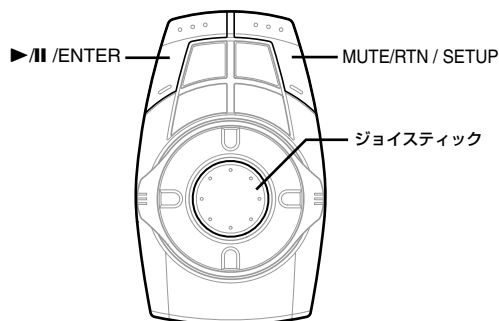
お車のシステム(純正オーディオのCDなど)をソースとして選択することができます。

- 1 「SOURCE/POWER」を押す。
ソース選択画面が表示される。
- 2 「ジョイスティック」↑↓ でFACTORY SYSを選び、「▶/■ / ENTER」を押す。
FACTORY SYS メイン画面に切りかわる。



Memo

- FACTORY SYSモードは、「スピーカー入力モードの設定」(15ページ)でSOURCEかBOTH設定時に表示されます。
- 「スピーカー入力を使う」(14~16ページ)の各設定を正しく設定してからご使用ください。



外部オーディオプロセッサーの操作 (オプション)

外部オーディオプロセッサーと接続している場合は、本機から操作することができます。但し、接続するオーディオプロセッサーによって、操作できない場合もあります。ここでは、PXA-H700またはPXA-H701と接続した場合を例に説明します。接続しているオーディオプロセッサー側の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- MRA-D550と接続している場合は、SPEAKER SELECT、Bass Soundコントロール、グラフィックEQの設定はありません。MRA-F350と接続している場合は、さらにMXモードの設定もあります。また、設定値については、PXA-H700またはPXA-H701とは異なります。
- 設定の調整は、車を停止させてから行ってください。
- 接続しているオーディオプロセッサー側で調整/設定を行っているときは、本機から正しく操作することはできません。



ドルビーサラウンドの調整手順

ドルビーデジタルやDTSサウンドをより正確に再現するには下記調整を行ってください。

＜調整手順＞

- 1 **スピーカーセットアップ (P35)**
使用するスピーカーの有無または、特性を設定します。
- 2 **スピーカーレベルを調整する (P37)**
各スピーカーへの信号出力レベルを調整します。
- 3 **リアに低域音声をミキシングする (P36)**
リアスピーカーにフロントの音声信号をミキシングすることで後部座席でも聴きやすくさせることができます。
- 4 **画像を調整する (P36)**
センタースピーカーが真正面にあるように画像を調整します。
- 5 **迫力のある大音量再生を楽しむには (P37)**
必要に応じて、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」を楽しむことができます。
- 6 **DVDレベルを調整する (P37)**
ドルビーデジタル/PRO LOGIC II/DTS/PCMそれぞれのモードでの音量信号レベルを調整します。
- 7 **設定した内容を記憶する (P38)**
上記の内容に限らず本機で設定/調整した内容を全て記憶させることができます。

- 自動調整などと組み合わせて使用する場合は、ドルビーサラウンドの調整前に行うことをお勧めします。

スピーカーの設定をする

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。(11 ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP 画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押して AP SETUP を選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP 画面に切りかわる。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してSPEAKER SEL を選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 5 「ジョイスティック」←→を押して、接続しているスピーカーの設定をする。

FRONT1 : OFF/FULL(Full Range)/
TW(Tweeter)
FRONT2 : OFF/ON
REAR : OFF/ON
CENTER : OFF/ON
SUBWOOFER : OFF/MONO/STEREO

- 6 手順4、5を繰り返し、全てのスピーカーの設定をする。
- 7 「MUTE/RTN /SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。



Memo

- 接続していないスピーカーはOFFに設定する。
- 「スピーカーセットアップ」(35ページ)で設定したスピーカーがOFFの状態でも上記設定はできます。
- PXA-H700またはPXA-H701接続時、サブウーハーをMONOで使用する時には、PXA-H700またはPXA-H701側のサブウーハー出力端子へサブウーハーを接続してください。

外部オーディオプロセッサーのMXモードを設定する

PXA-H700 接続時は、PXA-H700 側のMX(Media Xpander)モードの設定を「AUTO」にしてから下記操作を行ってください。

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。(11 ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP 画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押して AP SETUP を選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP 画面に切りかわる。

- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してMXを選び、「ジョイスティック」←→を押してONにする。

- 5 「ジョイスティック」↑↓を押してMX SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。

- 6 「ジョイスティック」↑↓を押して再生中のメディアを選択し、「ジョイスティック」←→を押して、好みのMXモードを設定をする。

MX CD (OFF、CD1～3)

情報量豊富なCD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。

MX COMPM (OFF、CMPM1～3)

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。

MX FM (OFF、FM1～3)

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。

MX DVD

(OFF、MOVIE 1～2)

映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。

(MUSIC)

ミュージッククリップなどの情報量豊富なディスク。その情報量を活かし、メリハリのある音を再生する。

MX MD (OFF、MD1～3)

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。

MX AUX1～3 (OFF、CMPM、MOVIE、MUSIC)

接続するメディアに対応したMXモード(CMPM、MUSIC、MOVIE)が選べる。

- 7 「MUTE/RTN /SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。



Memo

- ここで設定した内容は、PXA-H700またはPXA-H701側のMXモードに反映されます。
- OFFに設定すると各MXモードのMX効果がOFFになります。
- ラジオ/CD/MP3などの各音楽ソースごとに設定することができます。
- MP3/WMA、MMD、iPodモード時は「MX COMPM」に割り当てられます。
- MXモードは、再生中のメディアのみ設定できます。
- AUX3は、別売拡張BOX(VPE-S431)接続時のみ設定できます。

X-OVER の調整

- 1 ディフティートがOFFであることを確認する。(11ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP 画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUP を選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP 画面に切りかわる。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してX-OVER を選ぶ。
- 5 「ジョイスティック」←→を押してL/RまたはL+Rを選ぶ。
- 6 「ジョイスティック」↑↓を押してX-OVER SETUP を選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 7 「ジョイスティック」↑↓を押して設定したいスピーカーを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 8 「ジョイスティック」↑↓を押して項目を選び、「ジョイスティック」←→を押して調整する。

FREQUENCY :HPF または LPF のカットオフ周波数を調整する。

調整できる帯域はチャンネル（スピーカー）によって異なる。

LEVEL : HPFまたはLPFのレベルを調整する。レベルは、-13〜0の範囲内で調整できる。

SLOPE : HPFまたはLPFのスロープを調整する。スロープは、OFF/-6/-12/-18/-24/-30の範囲内で調整できる。

さらに別のチャンネルを調整するには、手順7、8を繰り返す。

- 9 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。



●スピーカーがOFFモードの時は、そのスピーカーのX-OVERは設定できません。「スピーカーの設定をする」(31ページ)を参照してください。

●調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。

●スピーカーを保護するためサブウーハー-L.P.F.でのフィルターOFF(スロープOFF)設定はありません。

●FRONT 1でTweeterを選択している場合は、H.P.F.でのフィルターOFF(スロープOFF)設定はできません。

手動で時間補正を行う (TCR)

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。自分で補正値を算出してリスニングポジションでの時間差を取り除く時にこの機能を使います。

【時間補正】

- 1 ディフティートがOFFであることを確認する。(11ページ参照)
- 2 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離 (m) を測定する。
- 3 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。
$$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$$
- 4 スピーカーごとに算出した距離を音速(343m/s 気温20℃)で割る。その値が各スピーカーの時間補正値となる。

●具体例

下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

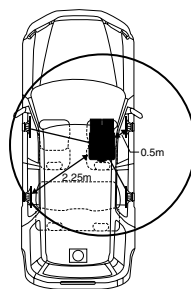
(条件) :

一番遠いスピーカー〜リスニングポジション : 2.25m
フロント右側スピーカー〜リスニングポジション : 0.5m

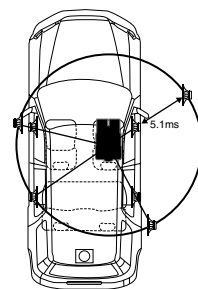
(算出) : $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正値に5.1 (ms) 与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

- 5 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP画面に切りかわる。
- 6 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP画面に切りかわる。
- 7 「ジョイスティック」↑↓を押してTCRを選ぶ。
- 8 「ジョイスティック」←→を押してL/RまたはL+Rを選ぶ。
L/R : チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。
L + R : チャンネルL/Rで同じ調整値に設定される。
- 9 「ジョイスティック」↑↓を押してTCR SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 10 「ジョイスティック」↑↓を押して設定したいスピーカーを選ぶ。
- 11 「ジョイスティック」←→を押して時間補正值 (0.00 ~ 20.00ms) を調整する。(1step = 0.05ms)
ジョイスティックを押し続けると、連続して変化する。
- 12 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。



- スピーカーがOFFモードの時は、そのスピーカーのTCRは設定できません。「スピーカーの設定をする」(31ページ)を参照してください。
- タイムコレクション(時間補正)でのFRONT 2スピーカーの調整値は、「Bass Focusの設定」(35ページ)のFRONTスピーカーにも反映されます。
- 自動調整(AUTO TCR)は本機では操作できません。

位相切り換え

- 1 ディフューズがOFFであることを確認する。(11ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP画面に切りかわる。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してPHASE SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 5 「ジョイスティック」↑↓を押して設定したいスピーカーを選ぶ。

- 6 「ジョイスティック」←→を押して、位相 (0° または 180°) を切りかえる。
- 7 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。

グラフィックEQの調整

フロント (L/R) / リア (L/R) / センター独立で31バンド、サブウーハーは10バンドのレベル調整を行えますので、思い通りの音場を再現することができます。

- 1 ディフューズがOFFであることを確認する。(11ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP画面に切りかわる。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してG-EQを選ぶ。
- 5 「ジョイスティック」←→を押してL/RまたはL+Rを選ぶ。
L/R : チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。
L + R : チャンネルL/Rで同じ調整値に設定される。
● パラメトリックEQの調整を行うとOFFになる。
- 6 「ジョイスティック」↑↓を押してG-EQ SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 7 「ジョイスティック」↑↓を押して設定したいスピーカー(チャンネル)を選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 8 「ジョイスティック」↑↓を押して設定したい周波数を選ぶ。

- 9 「ジョイスティック」←→を押してレベル調整をする。
レベルは、-9 ~ +9 の範囲内で調整できる。
さらに別の周波数を調整するには、手順8、9を繰り返す。
さらに別のスピーカーを調整するには、手順7~9を繰り返す。

- 10 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。



- スピーカーがOFFモードの時は、そのスピーカーのグラフィックEQは設定できません。「スピーカーの設定をする」(31ページ)を参照してください。
- イコライザーの調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。スピーカーの再生周波数が「55Hz~30kHz」の場合、40Hzや20Hzのレベル調整を行っても効果がない場合もあります。
- グラフィックEQの調整を行うと、パラメトリックEQでの調整は無効になります。

パラメトリックEQの調整

グラフィックEQでは隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリックEQは、中心周波数、Q（帯域幅）、レベルがそれぞれ任意に調整可能ですので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うにはこのパラメトリックEQが有効なのです。

- 1 ディフィートがOFFであることを確認する。(11ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP画面に切りかわる。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してP-EQを選ぶ。
- 5 「ジョイスティック」←→を押してL/RまたはL+Rを選ぶ。
L/R : チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。
L + R : チャンネルL/Rで同じ調整値に設定される。
●グラフィックEQの調整を行うとOFFになる。
- 6 「ジョイスティック」↑↓を押してP-EQ SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 7 「ジョイスティック」↑↓を押して設定したいスピーカー（チャンネル）を選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 8 「ジョイスティック」↑↓を押して好みのバンドを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 9 「ジョイスティック」↑↓を押して設定項目を選び、「ジョイスティック」←→を押して調整する。

FREQUENCY : 周波数を調整する。

LEVEL : レベルを調整する。レベルは、-9 ~ +9の範囲内で調整できる。

Q : バンド幅を調整する。バンド幅は、0.5/1/2/3/4/5の範囲内で調整できる。

さらに別のバンドを調整するには、手順8、9を繰り返す。

さらに別のスピーカー（チャンネル）を調整するには、手順7～9を繰り返す。

- 10 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、一つ前の画面に戻る。



- スピーカーがOFFモードのときは、そのスピーカーのパラメトリックEQは設定できません。「スピーカーの設定をする」(31ページ)を参照してください。
- 隣り合うバンドの周波数は7ステップ以内に調整することはできません。
- イコライザーの調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。スピーカーの再生周波数が「55Hz～30kHz」の場合、40Hzや20Hzのレベル調整を行っても効果がない場合もあります。
- パラメトリックEQの調整を行うと、グラフィックEQでの調整は無効になります。

Bass Sound コントロールの設定

- 1 ディフィートがOFFであることを確認する。(11ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP画面に切りかわる。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してB.SOUND CNTLを選び、「ジョイスティック」→を押す。

Bass Compressor の設定

低音域の音質をお好みに調整することができます。

- 5 「ジョイスティック」↑↓を押してBASS COMPを選ぶ。
- 6 「ジョイスティック」←→を押して好みのモードを選ぶ。
MODE1 → 2 → 3 になるにつれて低音域を強め、より迫力のある音が楽しめる。
設定しないときは、「OFF」を選ぶ。



- 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、1つ前の画面へ戻る。

Bass Focus の設定

あらかじめ設定されているステップ値(時間差)を使用することで、前後/左右同時に時間差が設定でき、感覚的に時間補正を調整することができます。ステップは、0.05ms 間隔で0~400 ステップ用意しています。

5 「ジョイスティック」↑↓を押して設定したいスピーカー(前後/左右)を選ぶ。

6 「ジョイスティック」←→を押して前後/左右のステップを調整する。



- Bass Focusでの設定はタイムコレクション(時間補正)にも反映されます。
- 「MUTE/RTN /SETUP」を押すと、1つ前の画面へ戻る。

7 さらに別のスピーカーを設定するには、手順5、6を繰り返す。

スピーカーセットアップ

お使いになるスピーカーの再生周波数帯域に応じて、PXA-H700またはPXA-H701を設定することができます。この操作を行う前に、各スピーカー(サブウーハー以外)の再生周波数帯域を調べて低音再生が可能かを確認してください。(80Hz以下が目安です)



- 本設定、調整中は、本機側でストップ/ポーズ(一時停止)/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

1 ディフティートがOFFであることを確認する。(11ページ参照)

2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP 画面に切りかわる。

3 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP 画面に切りかわる。

4 「ジョイスティック」↑↓を押してSPEAKER SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。

5 「ジョイスティック」↑↓を押して設定したいスピーカーを選ぶ。

6 「ジョイスティック」←→を押して、スピーカー特性を選ぶ。

OFF*¹ : スピーカーを接続していない場合

SMALL : 低域(80Hz以下)が再生できないスピーカーを接続している場合

LARGE*² : 低域(80Hz以下)が再生できるスピーカーを接続している場合

*¹ フロントスピーカーは、OFFにはできません。

*² フロントスピーカーがSMALLのときはリアスピーカーとセンタースピーカーをLARGEにできません。

7 手順5、6を繰り返して、各スピーカーを設定する。



- センタースピーカーをOFFにすると、フロントスピーカーから出力される音声信号に、センターの音声信号をプラスします。
- スピーカー特性をOFFに設定した場合はスピーカー設定もOFFに設定してください。(31ページ参照)
- セットアップは「フロント」「センター」「リア」「サブウーハー」の全てを行ってください。セットアップを行わなかった場合は「フロント」「センター」「リア」「サブウーハー」のバランスが崩れることがあります。
- センターをOFFに設定した場合は、この機能で「センター」の設定を行っても効果がありません。
- 各スピーカーの設定を変更すると、その設定条件により変更したスピーカー以外の出力も変化することがあります。
- PRO LOGIC IIでご使用の場合、リアスピーカーを「LARGE」に設定するとサブウーハーは出力されません。
- 「MUTE/RTN /SETUP」を押すと、1つ前の画面へ戻ります。

Dolby Digital を設定する

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。(11ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP画面に切りかわる。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してMULTI CH SETを選び、「ジョイスティック」→を押す。
MULTI CH SET画面に切りかわる。
- 5 「ジョイスティック」↑↓を押して調整する項目を選び。
お好みで下記項目を調整してください。

音像を調整する

臨場感ある音を再現するには、センタースピーカーをリスニングポジションの真正面に置かなくてはなりません。この機能で仮想的に、センタースピーカーの音を両サイドに振り分けることにより、センタースピーカーが真正面にあるような音像を作り出すことができます。(「PRO LOGIC IIを使う」(38ページ)で「DOLBY PL II」を選択し、センター幅の調整機能が動作中は、この機能で調整を行っても効果がありません。)



- 本設定、調整中は、本機側でストップ/ポーズ(一時停止)/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。
- 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、1つ前の画面へ戻ります。

- 1 「ジョイスティック」←→を押して、BI-PHANTOMをONにする。
- 2 「ジョイスティック」↓を押して、BI-PHANTOM LVを選ぶ。
- 3 「ジョイスティック」←→を押して、レベルを調整する。
レベルは-5～+5まで調整でき、レベルが大きくなると、音像はセンタースピーカーの位置から両サイドに移る。
BI-PHANTOMをOFFに設定すると、BI-PHANTOM機能はOFFになる。



- スピーカーセットアップでセンタースピーカーの設定を「SMALL」や「LARGE」にすると効果が得られます。
- 「スピーカーの設定をする」(31ページ)にて、設定したスピーカーがCENTERでOFFの時には、効果はありません。
- 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、1つ前の画面へ戻ります。
- 本機設定後のDVD再生時は、その性質上、他のソースよりも音楽信号レベルが低下しますが故障ではありません。「DVDレベルを調整する」(37ページ)でレベル調整を行ってください。

リアに低域音声をミキシングする

リアスピーカーから出力される音声信号に、フロントの音声信号をミキシングします。
後部座席でより聴きやすくなります。



- 本設定、調整中は、本機側でストップ/ポーズ(一時停止)/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

- 1 「ジョイスティック」←→を押して、REAR MIXをONにする。
- 2 「ジョイスティック」↓を押して、MIX LEVELを選ぶ。
- 3 「ジョイスティック」←→を押して、レベルを調整する。
レベルは-6、-3、0、+3、+6まで調整できる。レベルが大きくなると、リアスピーカーから出力される低域の音声が増加する。(効果は、DVDなどのソフトによって異なる。)

REAR MIXをOFFに設定すると、REAR MIX機能はOFFになる。



- スピーカーセットアップの設定がリア「OFF」の時は調整を行っても効果はありません。
- リニアPCM信号の場合は、REAR FILLやREAR MIXの設定に関わらずリアスピーカーから音声が出力されます。
- 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、1つ前の画面へ戻ります。

迫力のある大音量再生を楽しむには

ドルビーデジタルでは通常の音量で十分な迫力が楽しめるように「ダイナミックレンジ」が圧縮されています。この圧縮を解除することにより、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」のある音を楽しむことができます。



● この機能は、ドルビーデジタルの場合のみ有効です。

「ジョイスティック」←→を押して、LISTENINGのSTDまたはMAXを選ぶ。

STD：通常の音量で迫力のある音を楽しむとき

MAX：大音量で迫力のある音を楽しむとき



- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。
- DVDソフトなどのソースの種類によっては効果がない場合があります。
- 「MUTE/RTN /SETUP」を押すと、1つ前の画面へ戻ります。

スピーカーレベルを調整する

本機から出力されるテストトーンで各スピーカーの音量が同じ大きくなるように調整します。各スピーカーの音量をリスニングポジションにおいて同じ大きさに調整することで高い臨場感が得られます。

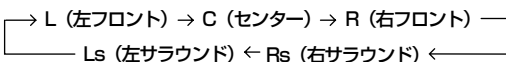


● 本設定、調整中は、本機側でストップ/ポーズ（一時停止）/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

1 「ジョイスティック」←→を押して、OUTPUT を ON にする。

テストトーンが各スピーカーチャンネル順に繰り返し出力される。

チャンネルは2秒間何も操作を行わないと次のチャンネルに移行する。



2 「ジョイスティック」↓を押して、OUTPUT LEVEL を選ぶ。

3 各スピーカーからテストトーンが鳴っているときに、「ジョイスティック」←→を押して、それぞれの音量が同じになるように出力レベルを調整する。

- 各スピーカーは-10dB ~ +10dB の範囲で調整できる。
- フロントスピーカーを基準に調整を行ってください。



- スピーカーが「OFFモード」のときは、そのスピーカーのレベル調整はできません。「スピーカーセットアップ」(35ページ)を参照してください。
- 設定を終了させるにはOUTPUTをOFFにしてください。

DVD レベルを調整する

ドルビーデジタル/DOLBY PL II/DTS/PCM それぞれのモードでの音量信号レベルを設定することができます。



● 本設定、調整中は、本機側でストップ/ポーズ（一時停止）/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

1 ディフューズがOFFであることを確認する。(11ページ参照)

2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP 画面に切りかわる。

3 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP 画面に切りかわる。

4 「ジョイスティック」↑↓を押してDVD LEVELを選び、「ジョイスティック」→を押す。
DVD LEVEL 画面に切りかわる。

5 「ジョイスティック」↑↓を押して調整したいモードを選ぶ。

6 「ジョイスティック」←→を押して、レベルを調整する。
レベルは、-5 ~ +5 の範囲内で調整できる。

7 手順5、6を繰り返し、それぞれのレベルを設定する。



● 「MUTE/RTN /SETUP」を押すと、1つ前の画面へ戻ります。

設定した内容を記憶する

調整 / 設定した内容を記憶することができます。
但し、組み合わせるオーディオプロセッサーにより、記憶できる内容は異なります。

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。(11 ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP 画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP 画面に切りかわる。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してPRESET MEMORYを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 5 「ジョイスティック」↑↓を押してP1～P6のいずれかを選び、「▶/II / ENTER」を押す。
設定した内容が記憶される。



- 記憶した内容はバッテリー電源コードを外したときでも消去されません。
- 「MUTE/RTN / SETUP」を押すと、1つ前の画面へ戻ります。

記憶した内容を呼び出す

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。(11 ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP 画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP 画面に切りかわる。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してPRESET CALLを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 5 「ジョイスティック」↑↓を押してP1～P6のいずれかを選び、「▶/II / ENTER」を押す。



- 記憶したプリセットメモリーを呼び出すには、多少時間がかかります。

PRO LOGIC II を使う

2チャンネルで録音された音楽信号にプロロジック処理を行い、DOLBY PRO LOGIC II サラウンドとして楽しむことができます。また、2チャンネルのドルビーデジタル、DTS 信号の場合は、リアにフロントの信号を出力する「REAR FILL」を使用することができます。

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。(11 ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を2秒以上押す。
SETUP 画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押してAP SETUPを選び、「ジョイスティック」→を押す。
AP SETUP 画面に切りかわる。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押してD PL II / REARを選び、「ジョイスティック」→を押す。
- 5 「ジョイスティック」←→を押して、D PL II / REAR の好みのモードを選ぶ。

MOVIE : ステレオTVショーやドルビーサラウンドでエンコードされたすべてのプログラムに向いています。その効果はディスクリート5.1チャンネルサウンドの質に迫る音場指向性の改善です。

MUSIC : あらゆるステレオ音楽録音で用いられ、広く深い音場を確保できます。

R.FILL : 入力信号によっては、音の出力がフロントスピーカーのみの場合があります。このときREAR FILL を使用することでリアスピーカーからも音を出力させることができます。

OFF : D PL II / REAR FILL 機能をOFFにする。

※ 「MUSIC」を選んだ場合は、以下の操作でさらにセンター幅の調整を行ってください。

この機能はセンターチャンネル定位をセンタースピーカーとL/Rスピーカーとの間に調整することにより、最良のボーカル定位を提供します。(この機能の動作中は「音像を調整する」(36 ページ)で調整を行っても効果がありません。)

CENTER WIDTH を選ぶ

- 1 「ジョイスティック」↓を押して、CENTER WIDTH を選び、「ジョイスティック」←→を押して ON にする。
- 2 「ジョイスティック」←→を押して、レベルを調整する。レベルは0～7まで調整でき、レベルが大きくなるとセンターチャンネル定位はセンタースピーカーの位置から両サイドに移る。

CENTER WIDTH を OFF に設定すると、CENTER WIDTH 機能は OFF になる。



- スピーカーセットアップでセンタースピーカーの設定を「SMALL」や「LARGE」にすると効果が得られます。
- 本設定、調整中は、本機側でストップ/ポーズ（一時停止）/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。
- 「スピーカーの設定をする」(31ページ)にて、設定したスピーカーがCENTERでOFFの時には、効果はありません。
- この機能は2チャンネル信号のみ有効です。DTSやドルビーデジタルの5.1ch信号が入力されたときは効果がありません。
- REAR MIXがONのときにREAR FILLの設定を行った場合、リニアPCM以外の2チャンネルデコード中はREAR MIXを優先させますので、REAR FILL設定での音の変化はありません。
- リニアPCM信号の場合は、REAR FILLやREAR MIXの設定に関わらずリアスピーカーから音声が出力されます。
- 「MUTE/RTN /SETUP」を押すと、1つ前の画面へ戻ります。

リニア PCM の設定

リニア PCM で記憶されたディスクの再生時の出力を 2ch または 3ch に設定することができます。

- 1 ディフティートが OFF であることを確認する。(11 ページ参照)
- 2 「MUTE/RTN / SETUP」を 2 秒以上押す。SETUP 画面に切りかわる。
- 3 「ジョイスティック」↑↓を押して AP SETUP を選び、「ジョイスティック」→を押す。AP SETUP 画面に切りかわる。
- 4 「ジョイスティック」↑↓を押して PCM MODE を選ぶ。
- 5 「ジョイスティック」←→を押して、2CH または 3CH を選ぶ。



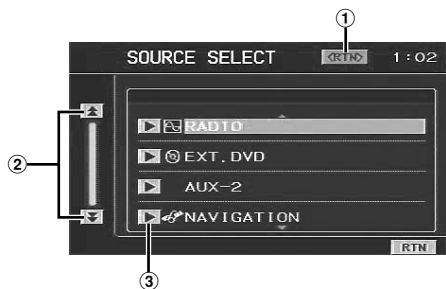
- 「スピーカーの設定をする」(31ページ)にて、設定したスピーカーがCENTERでOFFの時には、効果はありません。
- 「MUTE/RTN /SETUP」を押すと、1つ前の画面へ戻ります。

タッチスイッチで操作する

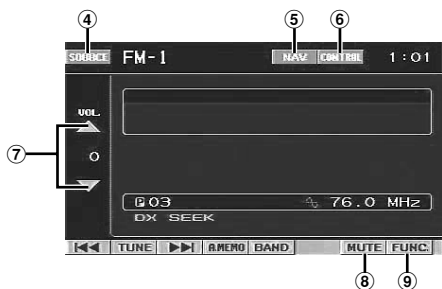
本機とアルパイン製タッチパネル対応モニターを接続すると、タッチパネルから操作を行うことができます。操作について詳しくは、各項目を参照してください。

基本操作

ソース選択画面、ラジオ画面を例に、基本的な操作を説明します。



- ① <RTN>
メインソース画面に戻る
- ② ▲ / ▼
リストがスクロールする。
- ③ ▶
項目を決定する。



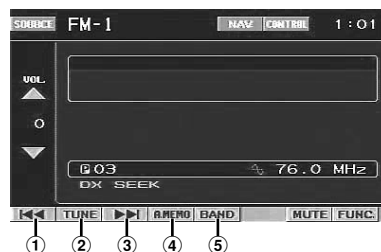
- ④ SOURCE : 6 ページ参照
ソース選択画面を表示する。
- ⑤ NAV. : 27 ページ参照
ナビゲーション画面を表示する。
- ⑥ CONTRL
接続したタッチパネル対応モニターのファンクション画面を表示する。
- ⑦ VOL. ▲/▼ : 7 ページ参照
音量を調整する。
- ⑧ MUTE : 7 ページ参照
ミュートの ON/OFF を切りかえる。
- ⑨ FUNC.
それぞれのソースのファンクション画面を表示する。



- ⑩ >>
階層リストがある場合に表示され、タッチするとリスト画面が切りかわる。
- ⑪ RTN
一つ前の画面に戻る

ラジオ操作

<メイン画面表示例>



- ① ◀◀ : 8 ページ参照
自動的にチャンネルを探し出し受信する。(ディスタンスモードまたはローカルモード)
◀◀ : 8 ページ参照
チャンネルが一つずつダウンする。タッチし続けると連続して変化する。(マニュアルモード)
- ② TUNE : 8 ページ参照
タッチするごとにチューニングモードを切りかえる。

→ DX SEEK → SEEK → (消灯)
 ◀◀, ▶▶ ◀◀, ▶▶ ◀◀, ▶▶
- ③ ▶▶ : 8 ページ参照
自動的にチャンネルを探し出し受信する。(ディスタンスモードまたはローカルモード)
▶▶ : 8 ページ参照
チャンネルが一つずつアップする。タッチし続けると連続して変化する。(マニュアルモード)
- ④ A.MEMO : 8 ページ参照
オートメモリーを行う。
- ⑤ BAND : 8 ページ参照
バンドを切りかえる。

<ファンクション画面表示例>

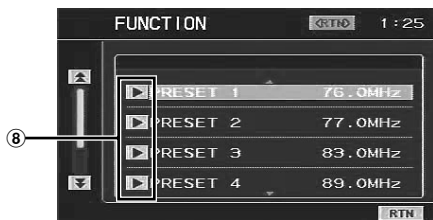


- ⑥ (PRESET CALL)》、(PRESET MEMORY)》 :
8 ページ、9 ページ参照

プリセットNo. の記憶/呼び出しのときに、プリセット
No. 画面に切りかわる。

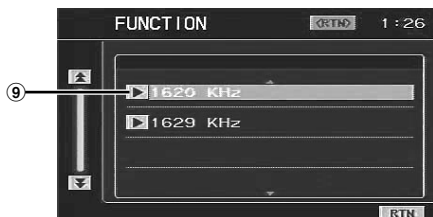
- ⑦ (TRF)》 : 9 ページ参照

TRF 周波数選択画面に切りかわる。



- ⑧ ▶ : 8 ページ、9 ページ参照

プリセット No. を決定する。



- ⑨ ▶ : 9 ページ参照

TRF 周波数を決定する。

セットアップ操作

オーディオ調整 (10 ページ)、リアエンター機能 (11 ページ)、外部オーディオプロセッサの操作 (30 ページ) も同様に操作を行うことができます。

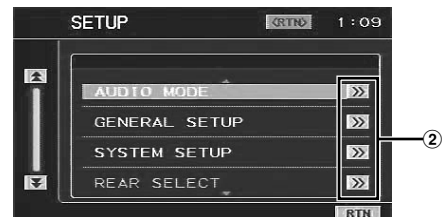
<各ソースファンクション画面表示例>



- ① (SETUP)》

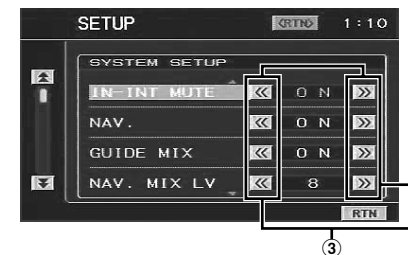
SETUP 画面を表示する。

< SETUP 画面表示例>



- ② 》

階層リストがある場合は表示され、タッチするとリスト画面が切りかわる。



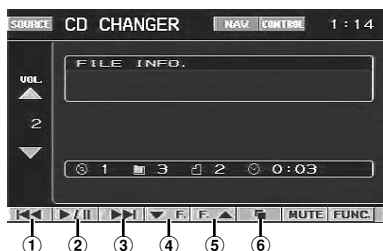
- ③ < / 》

タッチして調整、設定を行う。

タッチスイッチで操作する

CD/MD/MP3/WMA 操作

< MP3/WMA メイン画面表示例 >



- ① ◀◀ : 19 ページ参照
曲の頭出しを行う。タッチし続けると早戻しを行う。
- ② ▶/|| : 19 ページ参照
一時停止 / 再生を行う。
- ③ ▶▶ : 19 ページ参照
曲の頭出しを行う。タッチし続けると早送りを行う。
- ④ ▼ F. : 19 ページ参照
前のフォルダを選択する。
- ⑤ F. ▲ : 19 ページ参照
次のフォルダを選択する。
- ⑥ 📁 : 20 ページ参照
フォルダ / ファイル検索モードになる。



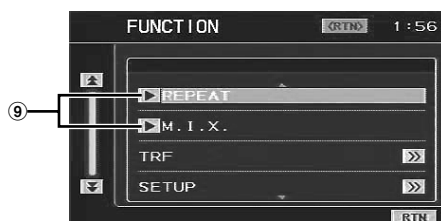
● CD/MD再生時は、「▼ F.」「F. ▲」「📁」は表示されません。

< サーチ画面表示例 >



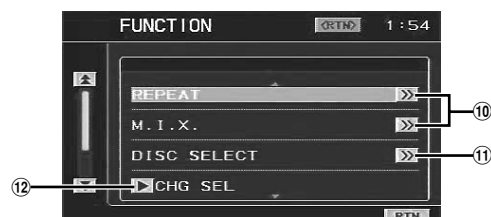
- ⑦ ▶ : 20 ページ参照
選んだフォルダ / ファイルを決定する。
- ⑧ » : 20 ページ参照
フォルダ内の中にファイルがある場合は表示され、タッチするとファイルリスト画面に切りかわる。

< ファンクション画面表示例 >



- ⑨ ▶ (REPEAT)、▶ (M.I.X.) : 20 ページ参照
タッチすること、リピート、ミックスモードを切りかえる。

< チェンジャー接続時表示例 >



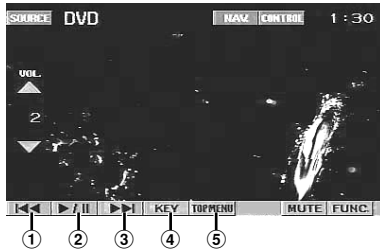
- ⑩ (REPEAT) »、(M.I.X.) » : 20 ページ参照
リピート、ミックスモードの選択画面に切りかわる。選択画面で▶ にタッチするとモードの決定。
- ⑪ (DISC SELECT) » : 19 ページ参照
ディスク選択画面に切りかわる。選択画面で▶ にタッチするとディスクの決定。
- ⑫ ▶ (CHG SEL) : 19 ページ参照
チェンジャー 2 台接続時表示される。タッチすること、チェンジャーを切りかえる。

DVD/ビデオCD 操作



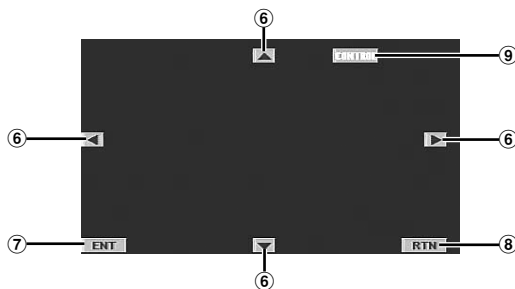
● ディスクや接続する製品によって、表示される項目が異なります。また操作を受け付けないタッチスイッチもあります。

< DVD メイン操作画面表示例 >



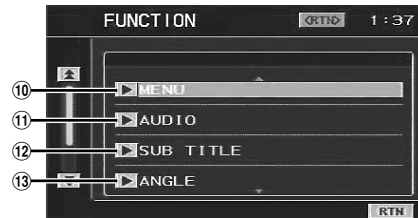
- ① ◀◀ : 21 ページ参照
トラック・チャプターの頭出しを行う。タッチし続けると早戻しを行う。
- ② ▶▶ / II : 21 ページ参照
一時停止 / 再生を行う。
- ③ ▶▶▶ : 21 ページ参照
トラック・チャプターの頭出しを行う。タッチし続けると早送りを行う。
- ④ KEY : 21 ページ参照
DVD メニュー操作画面を表示する。
- ⑤ TOP MENU : 21 ページ参照
DVD トップメニュー画面を表示する。

< DVD メニュー操作画面表示例 >



- ⑥ ▲▼◀▶ : 21 ページ参照
画面に表示される項目を移動する。
- ⑦ ENT : 21 ページ参照
項目を決定する。
- ⑧ RTN : 21 ページ参照
一つ前の画面に戻る。
- ⑨ CONTROL
メイン操作画面を表示する。

< ファンクション画面表示例 >



- ⑩ ▶ (MENU) : 21 ページ参照
メニュー画面を表示する。
- ⑪ ▶ (AUDIO) : 23 ページ参照
音声言語を切りかえる。
- ⑫ ▶ (SUB TITLE) : 23 ページ参照
サブタイトルを切りかえる。
- ⑬ ▶ (ANGLE) : 23 ページ参照
アングルを切りかえる。
- ⑭ ▶ (STOP/PRE STOP) : 22 ページ参照
再生中止 / 再生停止する。
- ⑮ ▶ (REPEAT) : 22 ページ参照
リピートモードを切りかえる。

タッチスイッチで操作する

iPod 操作

< iPod メイン画面表示例 >



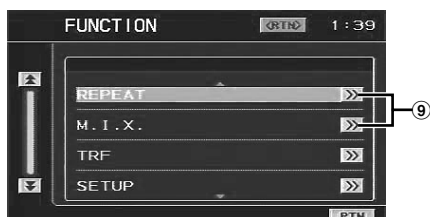
- ① ◀◀ : 24 ページ参照
曲の頭出しを行う。タッチし続けると早戻しを行う。
- ② ▶/|| : 24 ページ参照
一時停止 / 再生を行う。
- ③ ▶▶ : 24 ページ参照
曲の頭出しを行う。タッチし続けると早送りを行う。
- ④ ▼ D. : 26 ページ参照
プレイリスト / アーティスト / アルバムを選ぶ。
- ⑤ ▲ D. : 26 ページ参照
プレイリスト / アーティスト / アルバムを選ぶ。
- ⑥ 📁 : 24 ページ参照
サーチモードになる。

<サーチ画面表示例>



- ⑦ ▶ : 24 ページ、25 ページ参照
選んだプレイリスト / アーティスト / アルバム / 曲を決定する。
- ⑧ » : 24 ページ、25 ページ参照
プレイリスト / アーティスト / アルバムの中に階層がある場合は表示され、タッチするとリスト画面が切りかわる。

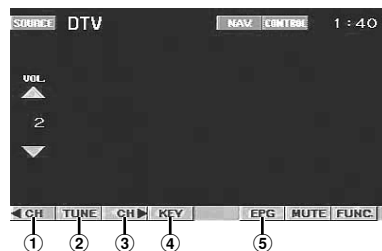
<ファンクション画面表示例>



- ⑨ (REPEAT) », (M.I.X.) » : 26 ページ参照
リピート、ミックスモードの選択画面に切りかわる。選択画面で ▶ にタッチするとモードの決定。

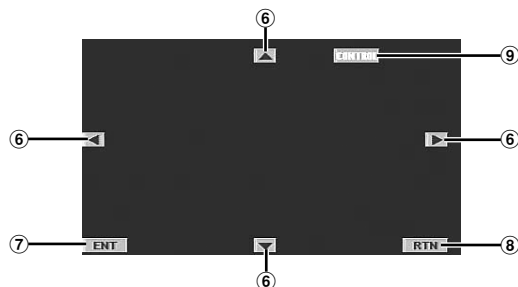
地上デジタルテレビ操作

<デジタルテレビメイン画面表示例>



- ① ◀ CH : 28 ページ参照
チャンネルが一つずつダウンする。押し続けると連続して変化する。
- ◀ P. : 28 ページ参照
プリセット番号が一つずつダウンする。
- ② TUNE : 28 ページ参照
選曲方法 (チャンネル及びプリセット番号) を切りかえる。
- ③ CH ▶ : 28 ページ参照
チャンネルが一つずつアップする。押し続けると連続して変化する。
- P. ▶ : 28 ページ参照
プリセット番号が一つずつアップする。
- ④ KEY
メニュー操作画面を表示する。
- ⑤ EPG : 28 ページ参照
EPG 画面を表示する。

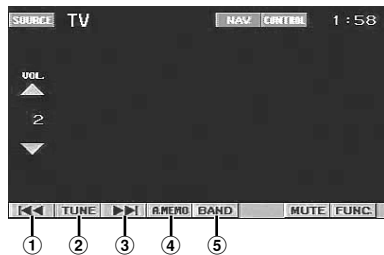
< EPG 画面表示例 >



- ⑥ ▲ ▼ ◀ ▶ : 28 ページ参照
画面に表示される項目を移動する。
- ⑦ ENT : 28 ページ参照
項目を決定する。
- ⑧ RTN
一つ前の画面に戻る。
- ⑨ CONTROL
メイン画面に戻る。

テレビ操作

<テレビメイン画面表示例>



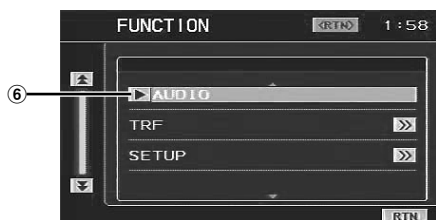
- ① **◀◀ : 29 ページ参照**
プリセット番号が一つずつダウンする。
◀◀ : 29 ページ参照
チャンネルが一つずつダウンする。(マニュアルモード)
タッチし続けると、自動的にチャンネルを探し出し受信する。(SEEK モード)
- ② **TUNE : 29 ページ参照**
タッチすることによりチューニングモードを切りかえる。

◀◀, ▶▶
プリセット番号
選択モード

←→

◀◀, ▶▶
マニュアルモード,
SEEKモード
- ③ **▶▶ : 29 ページ参照**
プリセット番号が一つずつアップする。
▶▶ : 29 ページ参照
チャンネルが一つずつアップする。(マニュアルモード)
タッチし続けると、自動的にチャンネルを探し出し受信する。(SEEK モード)
- ④ **A.MEMO : 29 ページ参照**
自動的にチャンネルを記憶する。
- ⑤ **BAND : 29 ページ参照**
バンドを切りかえる。

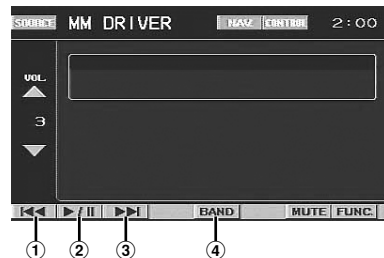
<ファンクション画面表示例>



- ⑥ **▶ (AUDIO) : 29 ページ参照**
テレビの音声を切りかえる。

HDD/MD/ “MG メモリースティック” 操作

< MM DRIVER メイン画面表示例>



- ① **◀◀ : 27 ページ、28 ページ参照**
曲の頭出しを行う。タッチし続けると早戻しを行う。
- ② **▶/II : 27 ページ、28 ページ参照**
一時停止 / 再生を行う。
- ③ **▶▶ : 27 ページ、28 ページ参照**
曲の頭出しを行う。タッチし続けると早送りを行う。
- ④ **BAND : 27 ページ、28 ページ参照**
モードを切りかえる。



取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

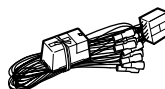
- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
 - ・RCAコード、ピンコード
 家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA 考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- スピーカーの接続
 - 純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
 - スピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものをお使いください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 取り付け場所について

ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 不明な点はお買い上げの店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

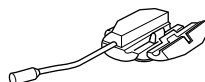
電源コード



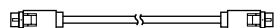
FACTORY
SYSTEMコード



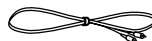
パーキングブレーキ
補助リード線



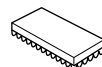
RGBケーブル
(3m)



PIN接続コード
(映像受信用) (3m)

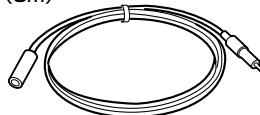


マジックテープ



×2

アンテナ延長ケーブル
(3m)

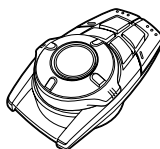


圧着コネクター

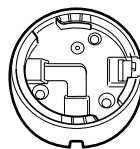


×6

コマンダー



ホルダー



コマンダー接続コード
(3m)



固定用ネジ



×3

両面テープ



金属クランプ



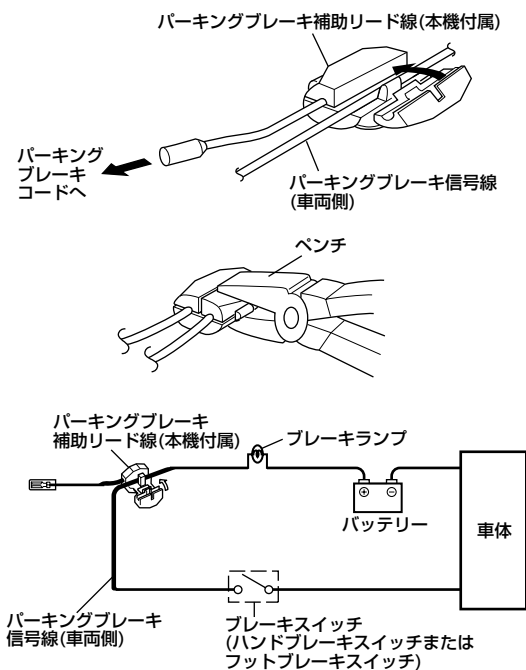
×3

- バッテリーのマイナス端子を外す。



3. 接続する

- 50～53ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。(54～59ページ参照) ご希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
- 車両側のパーキングブレーキ信号線に、パーキングブレーキ補助リード線を装着する。
パーキングブレーキコードは、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続する。
 - パーキングブレーキコードは、必ず接続してください。不明点は、お買い上げ店にお問い合わせください。



- 本機に電源コードを接続する。「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点がもれているところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

4. 本機を取り付ける



注意

- 通風孔や放熱板をふさがない。通風孔・放熱板をふさがないでください。通風孔・放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。
- 放熱板は熱くなりますので触らないでください。やけどの原因になります。

通風孔

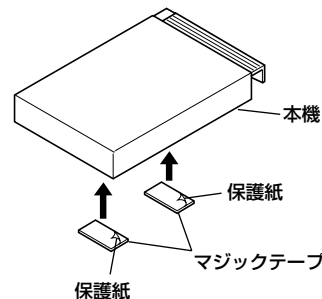


〈本機側面〉

マジックテープを使って取り付ける。
マジックテープで取り付ける場合は必ず平らな場所を選んでください。
チューナーが逆さまになるような位置には取り付けないでください。

1. 本機を取り付ける。

本機に付属のマジックテープを貼り付け、助手席の下などのフロアーカーペットに固定する。





取り付けと接続

5. コマンドーを取り付ける

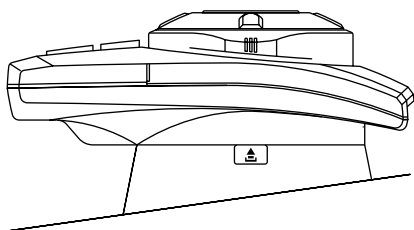
安全にお使いいただくために、次のような場所に取り付けてください。

- 安定しているしっかりした場所
- 運転したときに、視界や運転操作の妨げにならない場所
- ドライバーが操作しやすい場所（センターコンソールなど）

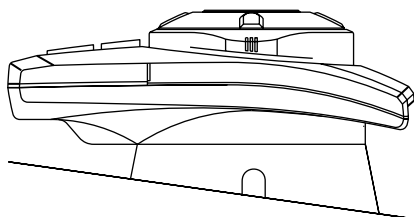
操作するときに姿勢が変わるようなことがあると、走行中の安全に支障をきたします。ドライバーが操作しやすいように考慮して、取り付けてください。

1. 取り付け場所を確認し、ホルダーの向きを決める。
ホルダーの取り付け方向で、コマンドーの角度を調整することができます。操作しやすい方向を選択してください。

パターン 1

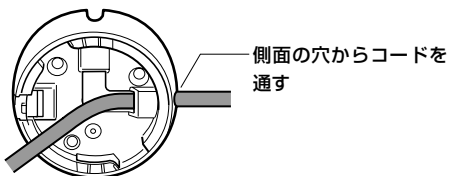


パターン 2

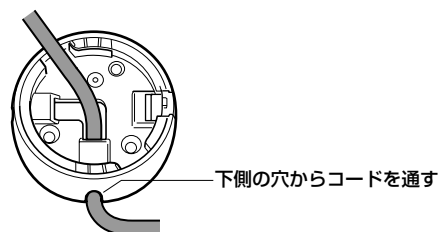


2. ホルダーにコマンドー接続コードを通す。

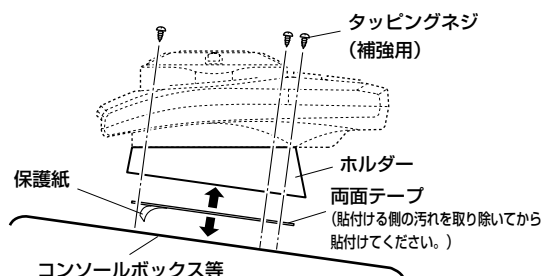
パターン 1



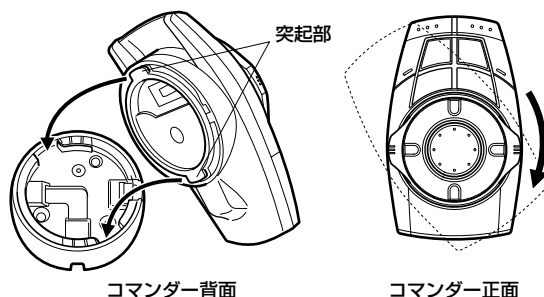
パターン 2



3. ホルダーを取り付ける。
両面テープで確実な取り付けができない場合は、ネジを使って取り付けてください。



4. コマンドーとコマンドー接続コードを接続する。
5. ホルダーを抑えながらコードを引き、コードのたるみを取る。
6. コマンドーをホルダーに固定する。
コマンドー背面の2箇所の突起部をホルダーのくぼみに合わせた後、時計回りにカチッと音がするまでコマンドーを回す。



- コマンドーをホルダーから取り外す時は、ホルダー側面の「▲」を押しながら、コマンドーを反時計回りに回して外す。

警告

助手席エアバッグの近くにコマンドーを取り付けない。
不適切な取り付けをしますと、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、事故やケガの原因になることがあります。

7. 接続コードを添付のコードクランプで固定する。



6. 確認する

1. イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

スイッチ切りかえについて

スイッチを理解する。

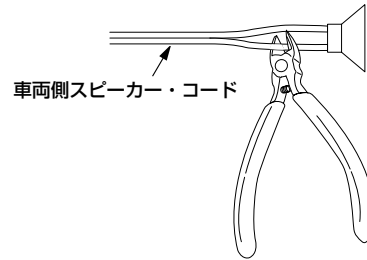
取り付け前やシステムアップを行うとき、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

切りかえは次の手順で行ってください。

1. 電源コードを抜く。
2. 棒状のものを垂直に挿入する。
3. 指定のポジションに切りかえる。
4. 電源コードを接続する。

スピーカー入力コードの接続について

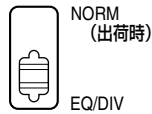
1. 車両側のスピーカー・コードを切断する。



2. コードを接続する。
添付の圧着コネクタを使用して接続してください。

システムスイッチ

本機に Ai-NET 対応のイコライザーを接続するときは、本機底面にあるシステムスイッチを「EQ/DIV」側に切りかえます。



- チェンジャーのみを接続する (Ai-NET 対応イコライザーを使わない) 場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

ALPINE / OTHER 切りかえスイッチ

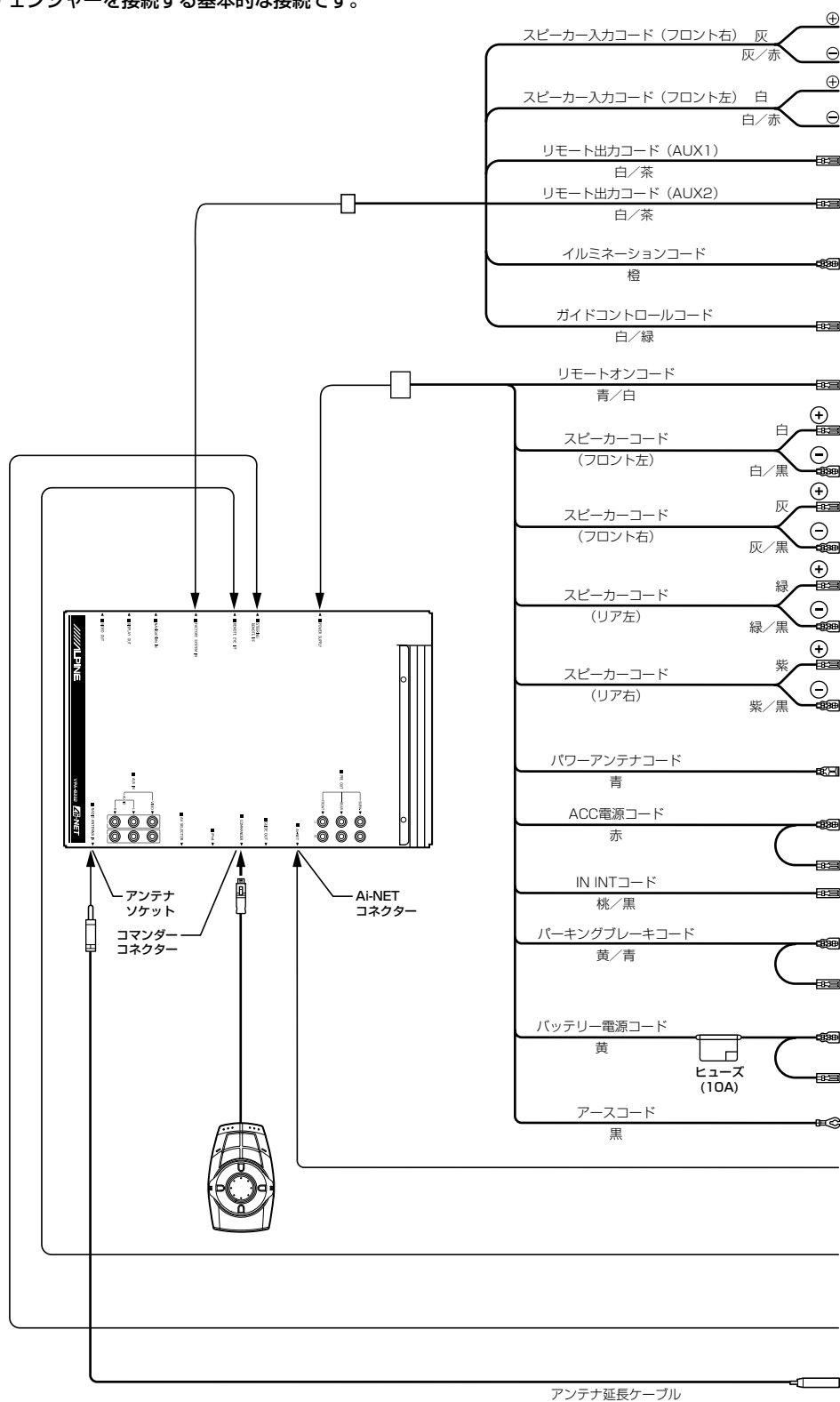
通常は「ALPINE」でお使いください。別売のディスプレイ・インターフェイス BOX を接続する場合は「OTHER」に設定してください。





基本接続図

本機とスピーカー、チェンジャーを接続する基本的な接続です。



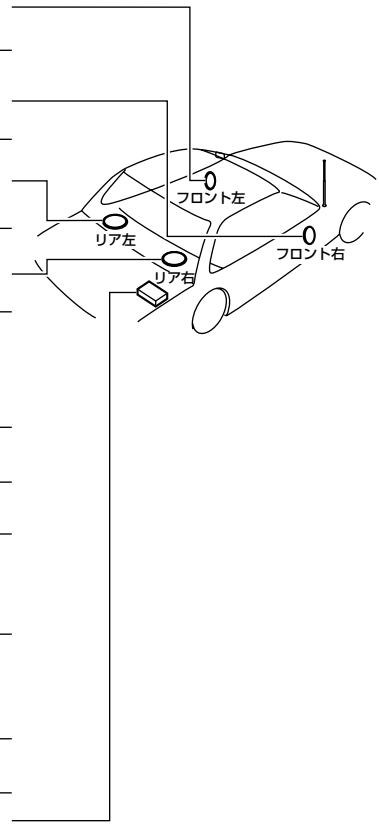


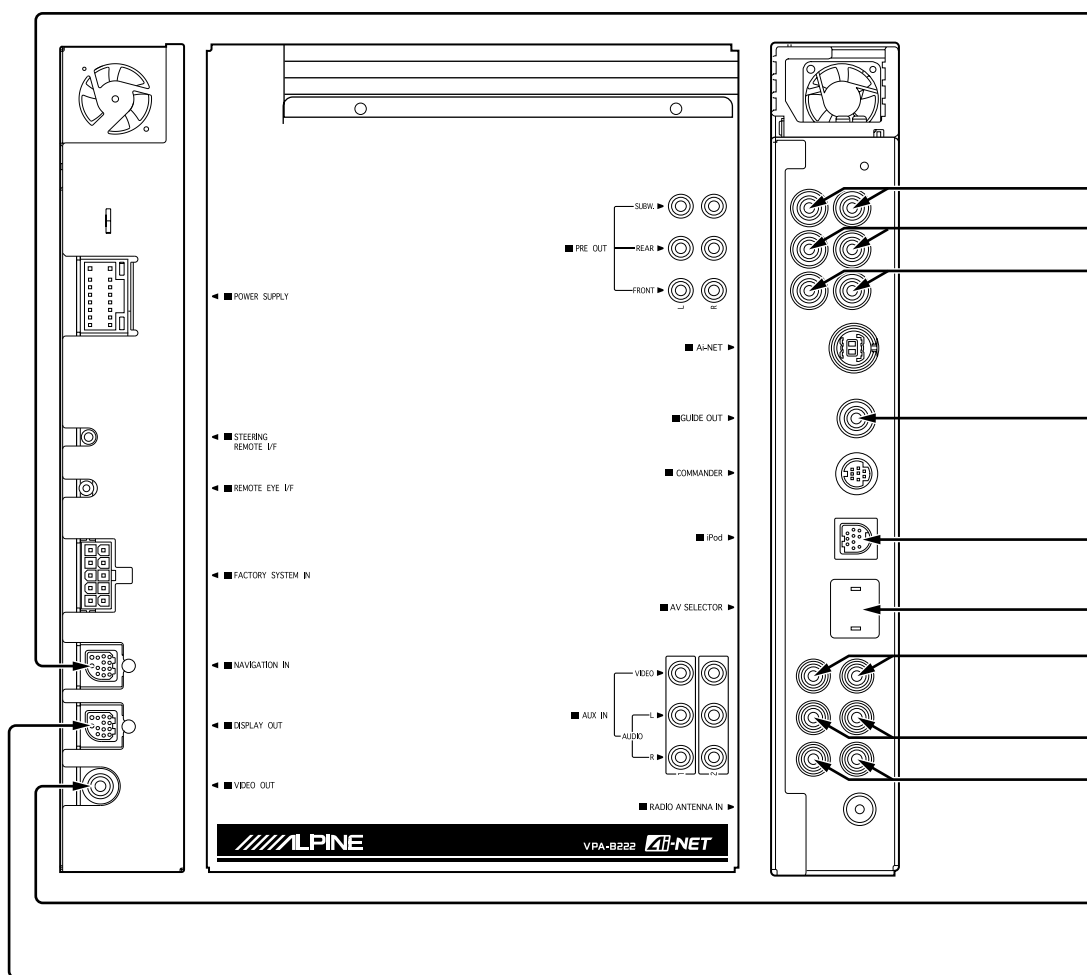
コード色	コード仕様	接続先	
灰 灰/赤	• スピーカー入力コード (フロント右) 車のシステム音声を本機に入力します。	車のスピーカー出力コードに接続	①
白 白/赤	• スピーカー入力コード (フロント左) 車のシステム音声を本機に入力します。	車のスピーカー出力コードに接続	②
白/茶	• リモート出力コード (AUX1) リモコン信号を出力するためのコードです。	組み合わせるALPINE製品の リモート入力コードに接続*	③
白/茶	• リモート出力コード (AUX2) リモコン信号を出力するためのコードです。	組み合わせるALPINE製品の リモート入力コードに接続*	
橙	• イルミネーションコード スモールランプなどのライトに連動してコマンドの 照光ボタンの明暗切りかえを行います。	車のスモールライトコードに 接続	
白/緑	• ガイドコントロールコード 外部オーディオプロセッサ接続時、アルパイン製 ナビゲーションの音声を割り込ませるときに使用し ます。	外部オーディオプロセッサの ガイドコントロールコード に接続	④
青/白	• リモートオンコード 本機の電源ON/OFFとアンプなどの周辺機器の ON/OFFを連動させます。	アンプ/イコライザー追加 の際に使用	⑤
白 白/黒	• スピーカーコード (フロント左) フロント左スピーカーを駆動する信号を出力します。 接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωの ものを使用してください。	フロント左のスピーカー に接続	⑥
灰 灰/黒	• スピーカーコード (フロント右) フロント右スピーカーを駆動する信号を出力します。 接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωの ものを使用してください。	フロント右のスピーカー に接続	⑦
緑 緑/黒	• スピーカーコード (リア左) リア左スピーカーを駆動する信号を出力します。 接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωの ものを使用してください。	リア左のスピーカーに接続	⑧
紫 紫/黒	• スピーカーコード (リア右) リア右スピーカーを駆動する信号を出力します。 接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωの ものを使用してください。	リア右のスピーカーに接続	⑨
青	• パワーアンテナコード ラジオのON/OFFに連動してパワーアンテナを伸縮 させる信号を出力します。また、ウィンドウシールドア ンテナなどブースターが付いている車輛はブースター電 源として使うことができます。(ブースターが付いてい るものは必ず接続してください。接続を忘れるとラジオ の受信状態が極端に悪くなります。)	車のパワーアンテナコード またはアンテナブースター に接続	
赤	• ACC電源コード エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。	ACCポジションで電源が 供給されるコードに接続	
桃/黒	• 音声割り込み(IN-INT)コード 通常は使用しません。	通常は使用しません。詳しくは、 「外部割り込みモードの設定」 (18ページ)をご覧ください。	
黄/青	パーキングブレーキ補助リード線 黄/青 • パーキングブレーキコード パーキング、ブレーキの状態を本機に伝えます。	パーキング、ブレーキスイ ッチの電源側に接続	
黄	• バッテリー電源コード エンジンキーに関係なく常に電源を本機に供給し ます。通常、バッテリーコードの接続で十分です が、さらに良い音で楽しみたいときは、直接車側 のバッテリーに配線すると良いでしょう。 詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。	常に電源が供給される (バッテリー電源プラス) コードに接続	
黒	• アースコード 車体の金属部分へしっかりと固定します。	車体に接続	
	• Ai-NETコネクタ Ai-NETチェンジャーなどでシステムアップするときに 使用します。	Ai-NETコードでAi-NET製 品と接続	⑩
	• リモコンアイジャック端子 別売リモコンアイを接続するときに使用します。	他社モニター製品と組み合わせ ている場合に別売のリモコンア イ (KRE-500E) を接続すると 別売リモコンから操作するこ とができます。	
	• ステアリングリモコンコネクタ 車のステアリングリモコンで操作するときに使用 します。	リモートコントロール・ インターフェイス・ボックス (今後発売予定) と接続	
	• アンテナソケット アンテナからの信号を受けるコネクタです。	車のアンテナプラグを接続	



● 左記接続先の丸番号は、「他製
品との接続」(54~59ペー
ジ)で使用します。

* 別売拡張BOX(VPE-S431)と接続した場
合、本機のリモート出力または入力コードは
接続不要になります。拡張BOX(VPE-
S431)側のリモート出力または入力コード
と外部入力製品側のリモート出力または入
力コードを接続してください。







Memo

● 下記接続先の丸番号は、「他製品との接続」(54～59ページ)で使用します。

※ 別売拡張BOX(VPE-S431)と接続した場合、本機のAUX入力(AUX IN)端子は無効になります。拡張BOX(VPE-S431)側のAUX IN1～3端子に外部入力製品を接続してください。また、DVDビデオプレイヤーまたは、DVDチェンジャーのどちらか1台を組み合わせる場合には、VPE-431側のAUX IN1側に接続してください。

両方を組み合わせる場合には、DVDビデオプレイヤーをAUX IN1側へ接続し、DVDチェンジャーをAUX IN2側へ接続してください。

端子仕様	接続先	
 NAVIGATION IN (RGB入力) 端子(13P) RGB方式の映像/音声/リモコン出力などの信号を入力します。	組み合わせるナビゲーションのRGB出力端子に接続	⑪
 サブウーハー出力端子 サブウーハー用信号を出力します。	サブウーハー追加の際、サブウーハー用アンプ(ローパスフィルター内蔵アンプ)に接続	⑫
 リア出力端子 リア左右のプリアンプ信号を出力します。	アンプ/イコライザー追加の際に使用	⑬
 フロント出力端子 フロント左右のプリアンプ信号を出力します。	アンプ/イコライザー追加の際に使用	⑭
 GUIDE OUT端子 ナビゲーション/スピーカー入力端子から入力されたナビゲーション割り込み音声信号を出力します。	外部オーディオプロセッサ接続の際に使用	⑮
 iPod端子 iPod製品とシステムアップするときに使用します。	別売FULL SPEED™ Connection Cable (KCE-422i) と接続	⑯
 AV SELECTOR端子 別売拡張BOX(VPE-S431)と接続します。(使用時はカバーを取り外してください。)	別売拡張BOX(VPE-S431)側の「HEAD UNIT」端子に接続	⑰
 ビデオ入力端子 (AUX1) , (AUX2) 映像を入力します。	組み合わせる製品のビデオ出力に接続*	⑱
 オーディオ入力端子(左) (AUX1) , (AUX2) 音声を入力します。	組み合わせる製品のオーディオ出力(左)に接続*	⑲
 オーディオ入力端子(右) (AUX1) , (AUX2) 音声を入力します。	組み合わせる製品のオーディオ出力(右)に接続*	⑳
 ビデオ出力端子 映像を出力します。	モニターを接続する際に、添付のPIN接続コードを使用して接続	㉑
 DISPLAY OUT (RGB出力) 端子(13P) RGB方式の映像/音声/リモコン入力などの信号を出力します。	アルバイン製モニターを接続する際に、添付のRGBケーブルを使用して接続	㉒



取り付けと接続

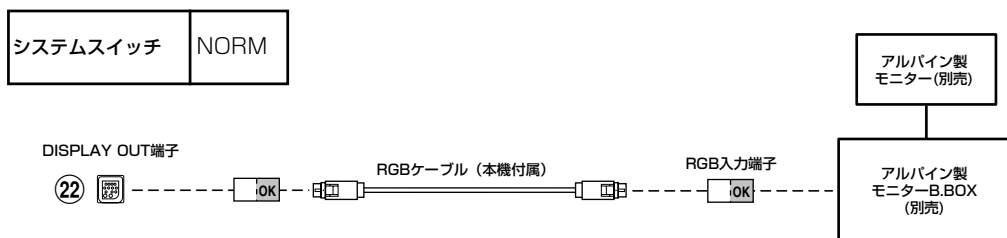
他製品との接続

重要

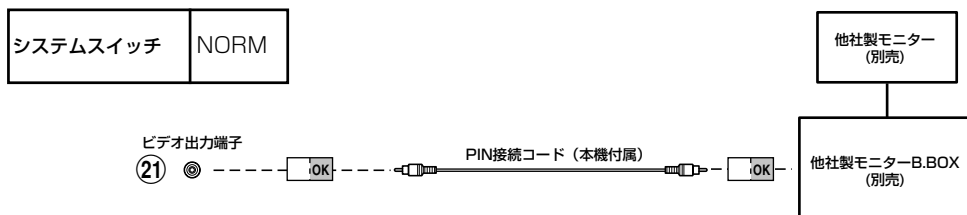
- オーディオプロセッサ (PKG-H701S など) と組み合わせる場合には、システムスイッチの切りかえが必要になります。
- 正しい切りかえを行わないと、爆音など、不具合が発生します。
- 詳しくは、「スイッチ切りかえについて」(49ページ)を参照してください。



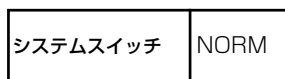
1) アルパイン製モニターを接続する。



2) 他社製モニターを接続する。



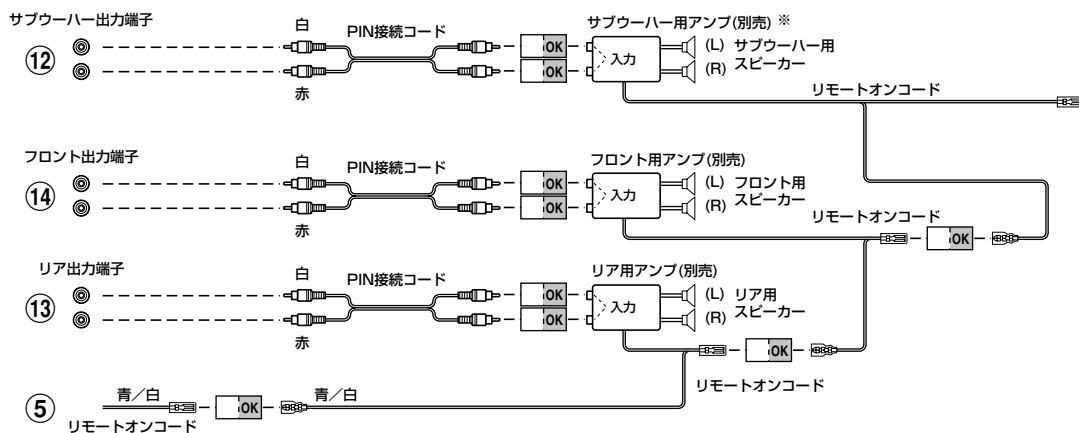
3) 外部アンプを接続する。



Memo

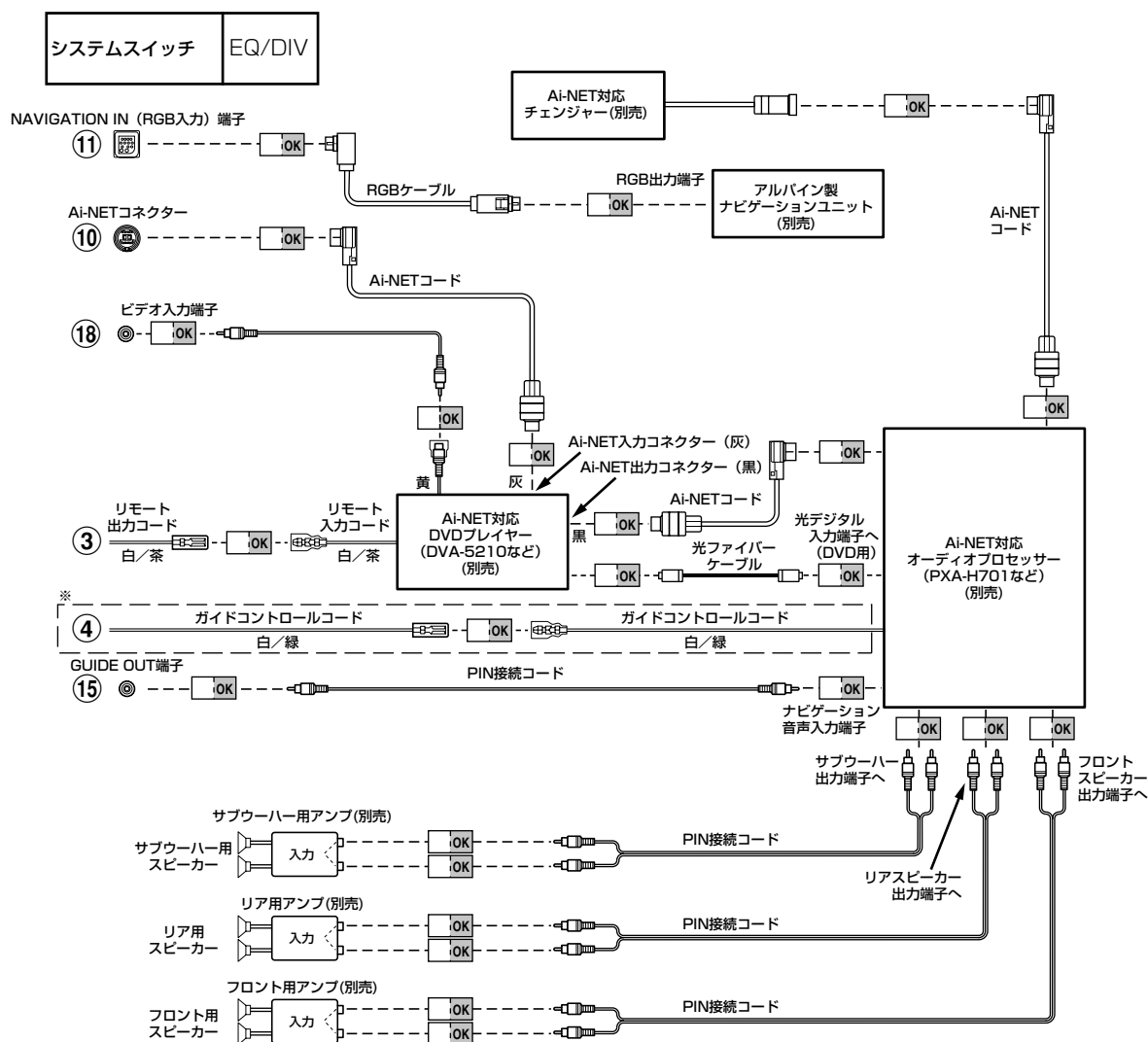
● 「サブウーハーのON/OFF」(17ページ)を参照してください。

※ 必要に応じてローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。



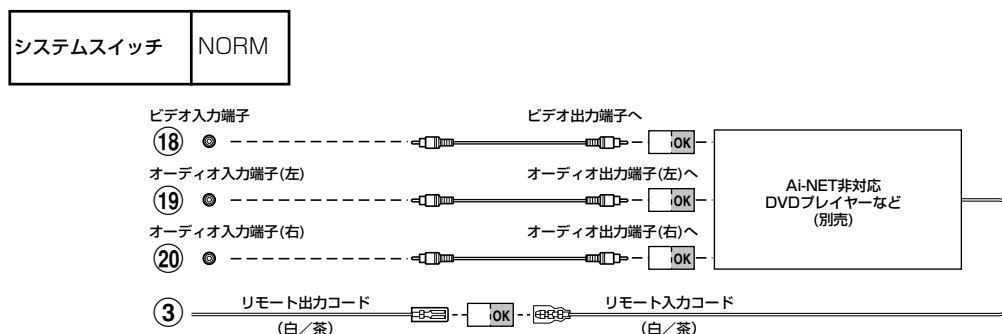


4) Ai-NET対応オーディオプロセッサおよびナビゲーション (RGB出力端子 13P)、チェンジャー、DVD プレイヤーを接続する。



※ ガイドコントロールコードは、PXA-H700 / PXA-H701接続時は、接続しません。

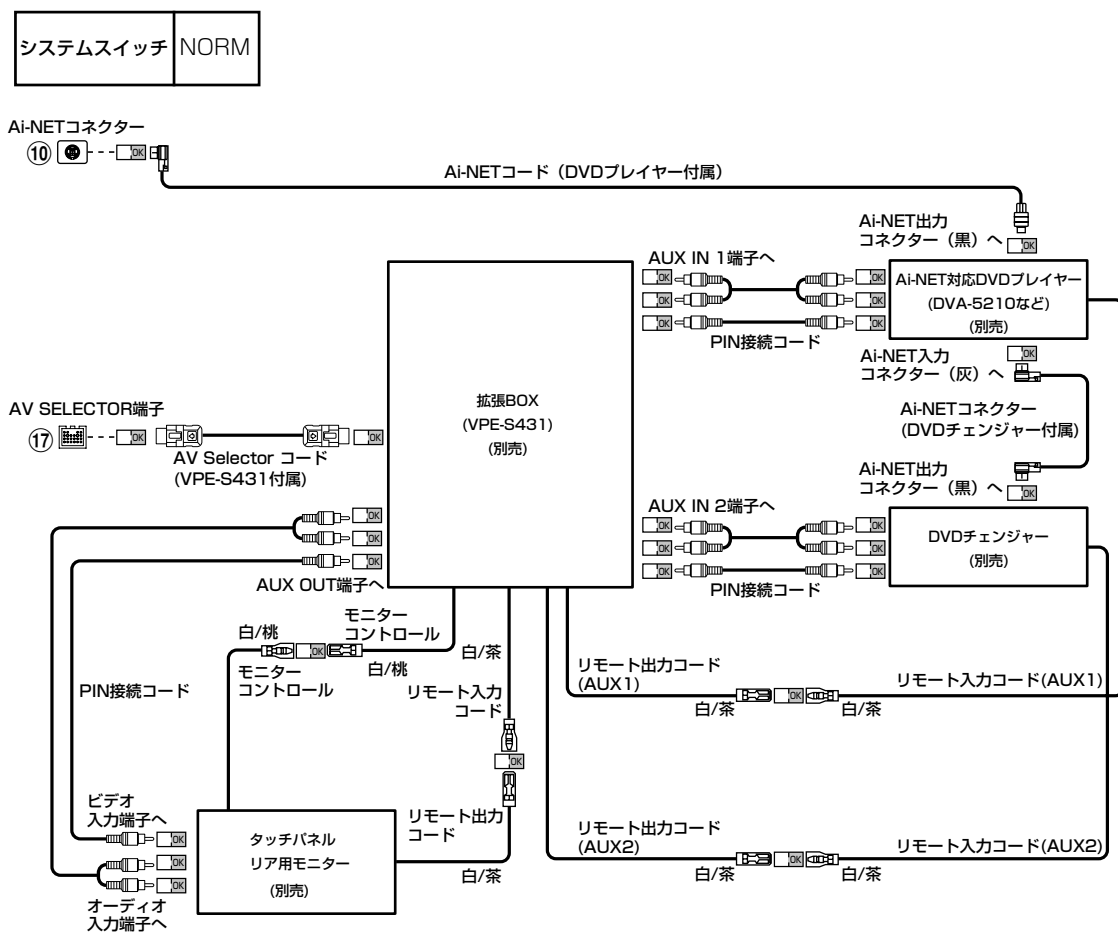
5) Ai-NET 非対応 DVD プレイヤー (DVE-5207 など) または外部入力製品 (ビデオデッキなど) を接続する。





取り付けと接続

6) 拡張BOX (VPE-S431)、DVD プレイヤー、DVD チェンジャーとタッチパネルリア用モニターを接続する。

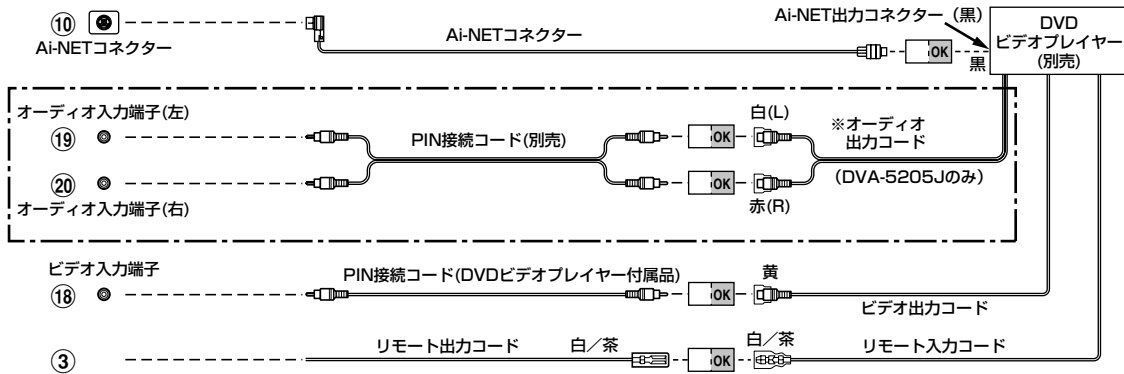




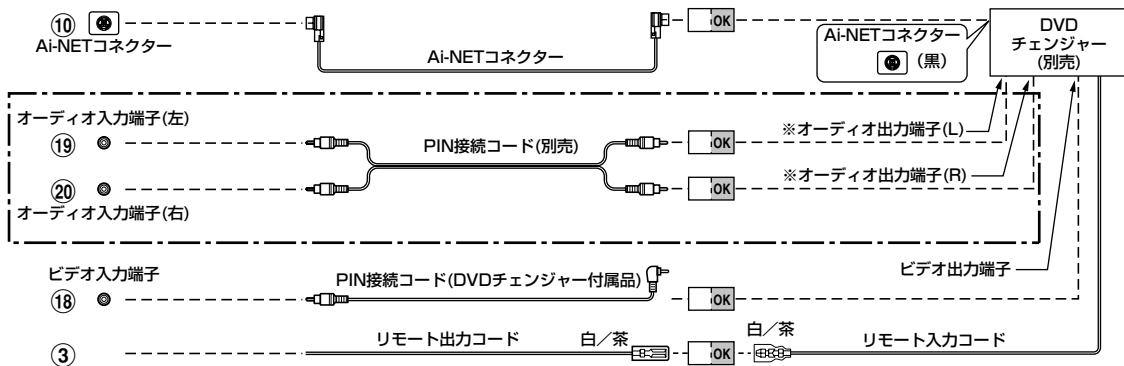
7) DVD ビデオプレイヤーまたは、DVD チェンジャーを接続する。

システムスイッチ NORM

● DVD ビデオプレイヤーの接続図



● DVD チェンジャーの接続図



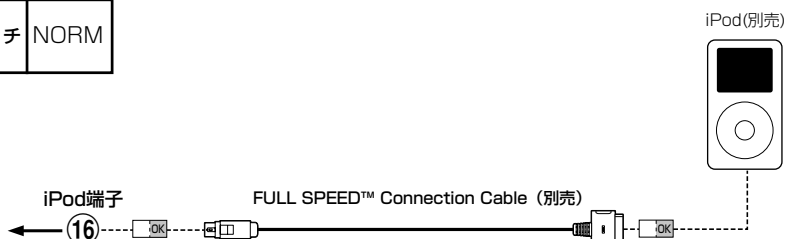
- 本機+DVDビデオプレイヤー／DVDチェンジャー+デジタルオーディオプロセッサを組み合わせる場合は、本機のシステムスイッチを「EQ/DIV」ポジションに設定してください。(接続については、DVDビデオプレイヤー／DVDチェンジャー側の説明書をご覧ください。)
- ALPINE製DVDビデオプレイヤーまたは、DVDチェンジャーのどちらか1台を組み合わせる場合は、必ずAUX1に接続してください。AUX2に接続すると、リモコンは動作しません。
- DVDビデオプレイヤーとDVDチェンジャーの両方を組み合わせる場合は、DVDビデオプレイヤーをAUX1側へ接続し、DVDチェンジャーをAUX2側へ接続してください。
- ※ リアモニターを接続する場合：
リアモニターへDVDビデオプレイヤー／DVDチェンジャーの音声を出力させるには、DVDビデオプレイヤー／DVDチェンジャーのオーディオ出力コードを本機のオーディオ入力端子⑪、⑫へ接続してください。



取り付けと接続

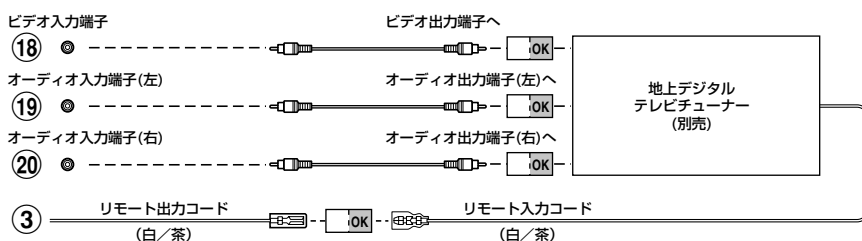
8) 「iPod」 + 「FULL SPEED™ Connection Cable」を接続する。

システムスイッチ	NORM
----------	------



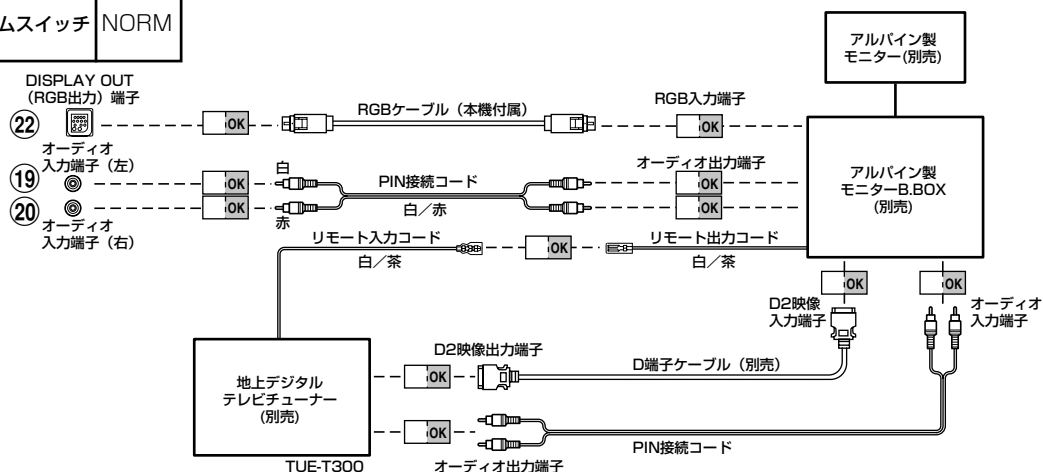
9) 地上デジタルテレビを接続する。

システムスイッチ	NORM
----------	------



10) D端子付きアルパイン製モニター、地上デジタルテレビチューナーを接続する。

システムスイッチ	NORM
----------	------

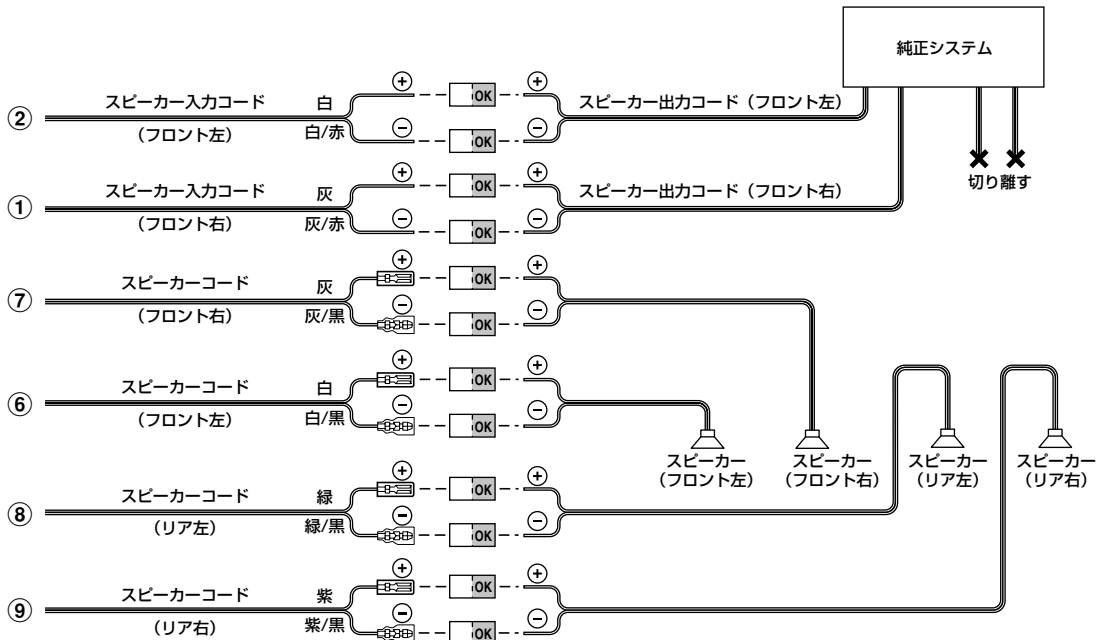


● 地上デジタルテレビを見るときには、本機ソースを地上デジタルテレビ(DTV)に切りかえた後に、モニターの映像ソースを地上デジタルテレビ(D端子接続)に切りかえます。地上デジタルテレビの操作は、コマンドで行うことはできません。



11) お車のシステム（純正オーディオなど）と接続する。

システムスイッチ NORM



Memo

- スピーカー入力コードは、必ずフロントスピーカー出力コードと接続してください。リアスピーカー出力コードとの接続はできません。
- 純正スピーカーと、純正システムのスピーカー出力コードは、必ず全て切り離してください。
- マルチチャンネルスピーカーシステムと接続する場合は、ミッドレンジスピーカー（フロント）と接続してください。ツイーターやウーハーと接続すると、音声が正しく出力されません。
- 「スピーカー入力を使う」(14～16ページ)の各項目の設定を行ってください。
- 「スピーカー入力コードの接続について」(49ページ)も参照してください。
- 正しい接続を行わないと、純正システム故障の原因になります。

- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
 - KCA-410C (Versatile Link Terminal)と組み合わせると、チェンジャー2台を接続することができます。
- 詳しくはKCA-410Cの説明書を参照してください。



故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

→ 接続・配線は正しく行われていますか？

→ 下の表をもう一度ご確認ください。

→ それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口(P63)にご相談ください。

● 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF→ONしてください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行なってください。

共通部

動作しない。

- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。(→P50)
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
 - ・ リセットスイッチをボールペンの先などで押す。(→P6)

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
 - ・ 音量レベルを上げる。(→P7)
- MUTEがONになっている。
 - ・ MUTEを解除する。(→P7)
- フェダーの設定が適切でない。
 - ・ 2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。(→P10)
- ナビ音声が入り込まない。
 - ・ NAV.MIXの音量調整を行う。(→P16)

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
 - ・ もう一度記憶する。
- バッテリーコードの接続ミス
 - ・ 接続を確認する。(→P50～53)

オーディオ調整ができない。

- DEFEATの設定がONになっている。
 - ・ DEFEATの設定をOFFにする。(→P11)

ナビ画面が割り込む。

- ナビゲーション側のシステム割り込みの設定が「システム」に設定されている。
 - ・ システム割り込みの設定を「しない」に切りかえる。(詳しくは、ナビゲーション側の取扱説明書をご覧ください。NVA-HD55をお使いのお客様へ：本設定はありません。)

リモコン（別売）が効かない。

- リアエンター機能のリモコン受光部がFRONT以外になっている。
 - ・ リアエンター機能のリモコン受光部を切りかえる。(→P11)

サブウーハーの音が出ない。

- サブウーハーの設定がOFFになっている。
 - ・ サブウーハーの設定をONにする。(→P17)
- サブウーハー出力レベル調整を行っていない。
 - ・ サブウーハー出力レベル調整を行う。(→P11)

表示が勝手に切りかわる。

- デモンストレーション機能がONになっている。
 - ・ OFFに設定する。(→P13)

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
 - ・ アンテナが確実に接続されているか確認する。
- アンテナが伸びていない。
 - ・ アンテナを伸ばす。
 - ・ パワーアンテナ/ブースターコードが接続されているか確認する。
- 放送局の周波数が合っていない。
 - ・ 周波数を正しく合わせる。(→P8)
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
 - ・ 見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
 - ・ アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。

- 電波の弱い地域にいる。
 - ・ ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。(→P8)

メッセージが表れたら ... (iPod 部 (オプション))

NO iPod

- iPodが接続されていない。
 - iPodが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。
- iPodバッテリーの残量が少ない。
 - iPodユーザーズガイドを参照して、iPodを充電する。

NO SONG

- iPodに曲(ファイル)が入っていない。
 - iPodに曲(ファイル)を転送してから接続する。

ERROR01

- 通信エラー。
 - 一度イグニッションキーを「OFF」にしてから、もう一度「ACC」または「ON」にする。
 - iPodとiPod接続ケーブルを接続しなおして表示を確認する。

ERROR02

- 本機で対応していないiPodソフトウェア・バージョンである。
 - 本機対応のiPodソフトウェア・バージョンにアップデートする。

メッセージが表れたら…
(チェンジャー部 (オプション))

NO MAGAZINE

- マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。
 - マガジンをCDチェンジャーにセットする。

NO DISC

- ディスクが入っていない。
 - ディスクを入れる。

HI-TEMP

- 車内温度が高すぎる。
 - 車内温度を常温まで下げる。

ERROR01

- ディスクがマガジンに戻っていない。
 - ① 「▲」を押す。
 - ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。
- メカニズムエラー。
 - ① 「▲」を押す。
 - ② 表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。
 - ③ それでも復旧しない…修理ご相談窓口へ。

ERROR02

- ディスクがマガジンに戻っていない。
 - ① 「▲」を押す。
 - ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。

規格

ラジオチューナー部

受信周波数	AM ; 522~1,629kHz, FM ; 76.0~90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 μ V, FM ; 0.8 μ V (75 Ω): 9.3dBf(新IHF)
ステレオセパレーション	FM ; 35dB以上
SN比	FM ; 65dB以上
イメージ妨害比	FM ; 80dB以上
IF妨害比	FM ; 80dB以上

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲; 11~16V)
アース方式	マイナスアース
音声出力レベル	プリアウト: 2V/10k Ω (最大) (フロント/リア) プリアウト: 2V/10k Ω (最大) (サブウーハー) AUX OUT: 1.2V/10k Ω Ai-NET: 850mV
動作温度範囲	0℃~45℃
外形寸法	275(幅)×170(奥行)×40 (高さ)mm
重量	1.2kg

アンプ部

最大出力	50W×4
------	-------

コマンダー部

外形寸法	53(幅)×87(奥行)×29 (高さ)mm
重量	50g(ホルダー含まず)

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

※ Apple, iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc. の商標です。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または63ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。

- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品
製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または63ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成17年10月1日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL:0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金で
ご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 土日祝日、
弊社休業日を除く 9:30～17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせを
おすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販売名	電話番号	住所	担当 都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全域
東北エリア 仙台オフィス 郡山オフィス 盛岡オフィス	022-239-5331 024-925-3811 019-664-1210	〒983-0031 宮城県仙台市宮城野区小鶴字羽黒104-1 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号 〒020-0114 岩手県盛岡市高松4丁目2番2号 オリエント5ビル	宮城県／山形県／秋田県 福島県 青森県／岩手県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-48-4772 025-257-8680	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目7番2号 〒390-0852 長野県松本市島立830番地の11 深澤ビル102号 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクセレント石山	東京都北・西部／埼玉県／群馬県／栃木県 長野県／山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	東京都東部／千葉県／茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部／神奈川県／ 静岡県(大井川以东)
中部圏エリア 中部オフィス 北陸オフィス	052-779-5655 076-240-8111	〒465-0021 愛知県名古屋市中区東区猪子石3丁目108 〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号	愛知県／三重県／岐阜県／ 静岡県(大井川以西) 石川県／富山県／福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府／奈良県／和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス 高松オフィス	086-243-8257 082-846-1175 087-869-3086	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号 〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	岡山県／島根県／鳥取県 広島県／山口県 徳島県／香川県／愛媛県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス	092-452-8870 095-727-1581	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13	福岡県／大分県／佐賀県／熊本県／ 鹿児島県／宮崎県 長崎県
アルパイン京都販売(株) アルパイン兵庫販売(株) マークエンタープライズ(株) (株)パリス	075-351-6406 0794-54-6123 088-884-6800 098-866-1916	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町113番地の1 〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1 〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号 〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地3	京都府／滋賀県 兵庫県 高知県 沖縄県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズ サービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道／青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県／ 栃木県／茨城県／群馬県／東京都／神奈川県／埼玉県／千葉県 ／新潟県／長野県／山梨県
アルパインカスタマーズ サービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県／愛知県／三重県／岐阜県／福井県／富山県／石川県／ 滋賀県／京都府／大阪府／和歌山県／奈良県／兵庫県／ 岡山県／島根県／鳥取県／広島県／山口県／香川県／愛媛県／ 徳島県／高知県／福岡県／佐賀県／大分県／熊本県／長崎県／ 鹿児島県／宮崎県／沖縄県

お客様へ



このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご愛用者WEBアンケートにご協力ください

弊社ではお客様により満足いただける製品を目指して、お客様のご意見を伺うアンケートを実施しています。
お手数ですが、以下のインターネット ウェブサイト(弊社ホームページ内)にてご回答下さいますようお願い申し上げます。
尚、回答者の個人情報を弊社以外で利用することはありません。

<https://secure.alpine.co.jp/ps/>

質問事項すべてに回答して下さった方の中から抽選で粗品をお送り致します。(なお、発表は発送をもってかえさせていただきます)

◆アルパイン個人情報保護方針◆

1. 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、以下のような目的で利用されます。

- ・ 郵送及び電子メールによるお知らせやアンケートの発信。
- ・ アンケートのご回答やプレゼント応募に対する景品・商品等の発送。
- ・ お問合せに対する連絡・確認。

2. 個人情報の開示について

当社は、お客様からご提供を頂いた個人情報を適切に管理します。当社は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、お客様の個人情報を第三者に開示することは原則としていたしません。

- ・ お客様の同意がある場合。
- ・ お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合。
尚、その場合当社は業務委託先に対して機密保持契約を締結する等の方法により、その業務委託先からの漏洩、再提供の防止を図ります。
- ・ お客様を識別することができない状態で開示する場合。

重要

- オーディオプロセッサー(PKG-H701Sなど)と組み合わせる場合には、システムスイッチの切りかえが必要になります。
- 正しい切りかえを行わないと、爆音など、不具合が発生します。
- 詳しくは、「スイッチ切りかえについて」(49ページ)を参照してください。

